

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」

Forest Festival of the Arts Okayama:

Clear-skies Country

実績報告書



「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会

2025年3月26日

目次

I	概況	1
II	芸術祭コンセプト	3
III	開催概要	4
	1 名称	4
	2 会期	4
	3 開催エリア	4
	4 主催	4
	5 ロゴマーク	5
IV	来場者数	6
	1 来場者数	6
	2 会場別来場者数	6
	3 来場者週別推移	7
V	展覧会・イベント	8
	1 展示会場	8
	2 参加アーティスト・作品	9
	3 アートイベント	16
	4 開幕関連行事	16
	5 お見送り行事	18
VI	来場者への対応	19
	1 インフォメーションセンター	19
	2 案内サイン	20
	3 バリアフリー対応	21
	4 多言語対応	21
	5 ユニフォーム・パス	21
VII	サポートスタッフ	22
	1 募集	22
	2 実績	23
	3 研修	25
	4 サポートスタッフ向けアンケート	25
	5 企業参加	25
VIII	広報	26
	1 メディア露出実績	26
	2 国内向け広報	27
	3 海外向け広報	34
	4 メディア向け広報	34
	5 視察の受入れ	38
	6 J R西日本グループの協力による広報	39

IX	交通	40
	1 オフィシャルツアー「森の誘惑」	40
	2 Art 周遊バス	43
	3 会場行バス	44
	4 レンタカー	44
	5 タクシー	45
	6 レンタサイクル	45
	7 鉄道	45
X	観光	47
	1 観光部会	47
	2 周遊モデルコース	47
	3 旅行商品造成の働きかけ	48
	4 食への取り組み	49
	5 連携事業	51
X I	地域連携・学校連携	55
	1 作品制作関係	55
	2 地域イベント	55
	3 鑑賞プログラム	56
X II	企業協力・協賛・助成	58
	1 協賛	58
	2 助成等	58
X III	鑑賞券・グッズ	59
	1 鑑賞券	59
	2 公式グッズ	60
	3 地産品等	61
X IV	来場者アンケート	62
	1 実施概要	62
	2 アンケート結果	62
X V	芸術祭開催による効果	66
	1 経済波及効果	66
	2 観光客の動向	66
	3 パブリシティ効果	66
X VI	収支状況（3か年）	67
X VII	成果・課題	68
	1 総括	68
	2 個々の取り組みの検証	68
	連携事業等一覧	71

I 概況

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」は、岡山県北部の12市町村（津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町）を舞台に、2024年9月28日（土）から11月24日（日）までの58日間にわたり開催した。

12の国・地域から42組43人のアーティストを迎え、5市町（津山市、新見市、真庭市、鏡野町、奈義町）の21会場にアート作品を展示した。

来場者数は、開幕当初から順調に推移し、会期中盤から終盤にかけてさらに多くの方々にお越しいただき、最終的に、延べ52万人を超え、盛況のうちに閉幕を迎えることができた。

来場者は、それぞれの会場で多様なアーティストの作品に出会い、非日常を体験するとともに、県北部の豊かな自然や歴史、文化なども味わった。また、芸術祭の開催を通じて、アートの力で引き出された県北部の魅力を県内外に発信することができ、地元の方々にとっては、あらためて地域を誇りに感じるきっかけにもなった。

作品展示会場となった5市町には、それぞれアート作品を恒久設置することとした。芸術祭のレガシーであるこれらの作品が地域の憩いや交流の場、あるいは、新たな観光資源として、多くの方々に親しまれることを期待する。

芸術祭の運営にあたっては、市町村、会場施設、関係機関、地域住民、サポートスタッフなど、多くの方々にご協力をいただいた。また、芸術祭の趣旨に賛同いただいた多くの企業・団体等からご支援をいただいた。

《沿革》

2022年4月26日	アートプロジェクト準備委員会設立総会 (準備委員会規約)
2022年9月8日	準備委員会第2回総会※書面開催 (市町村負担金案の承認)
2022年9月26日	準備委員会第3回総会※書面開催 (アート作品設置内定地の承認)
2022年10月27日	準備委員会第4回総会 (名称、ロゴマーク、コンセプト決定)
2022年10月31日	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会設立総会、第1回総会 (準備委員会からの報告、規約の承認、アートディレクターの委嘱)
2023年5月24日	実行委員会第2回総会 (会期・基本計画決定)
2023年10月30日	実行委員会第3回総会 (一部アート作品設置会場・参加アーティスト発表、実施計画決定)
2024年3月14日	実行委員会第4回総会※書面開催 (補正予算)

2024 年 5 月 29 日 実行委員会第 5 回総会
(全アート作品設置会場・参加アーティスト発表、詳細計画決定)

2024 年 9 月 28 日 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開幕

2024 年 11 月 24 日 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」閉幕

2025 年 3 月 26 日 実行委員会第 6 回総会
(実績報告、収支報告、次回開催)

II 芸術祭コンセプト

古代より大和と出雲を結ぶ出雲街道が東西に延び、近世には城下町・宿場町として栄えたこの地には、さまざまな伝統建築や工芸、芸能などのレガシーが残されています。大地や森からは果物や木材などの恵みがあり、その豊かさをサステイナブルにするためのさまざまな試みがなされており、なかでも木質バイオマス発電など森林資源を生かした取り組みはSDGsの先駆モデルとして評価されています。また蒜山高原をはじめ、美作三湯、鍾乳洞など、過度に観光地化されていない悠々とした時空間は、エコロジー思考における新しい可能性を秘めています。

森の芸術祭という名称は、温暖な気候、豊かな水や資源、食など、私たちが生きる上での大切な要素を満たしているこの地域の、自然の恵みや文化、人々が集まる場所としての多様性と豊かさを象徴する「森」からきています。

本芸術祭は、その「森」がもたらす「恵み」を芸術の力で未来に向けて活性化することを目的とし、「本当に必要な資本とは何か？」を問いかけます。美術館や記念館や学校などの文化施設、水やエネルギー、食の供給といった生活のインフラ、自然環境を共通の資本と考え、アーティストのみならず、建築家、科学者、民俗学者といった専門家も交え、地域の人々の協力を得ながら「新しい資本」をつくりあげていきます。

芸術は多様な考えを反映するとともに、これを人々に共感させ、新しい世界やものの見方に向けての想像力を養います。それは「驚き」「感動」「わくわく感」「ときめき」「生きていることの喜び」「深く感じ考えることの充足感」をもたらします。県北というひとつのエコロジーが芸術のエネルギーを得て、人々の心や感性をリフレッシュさせる「場」に変容します。晴れの国の森の住民たちの祝祭は、それを祝う祭となります。

アートディレクター 長谷川祐子

Ⅲ 開催概要

1 名称

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」

(英語表記) Forest Festival of the Arts Okayama: Clear-skies Country

2 会期

2024年9月28日(土)～11月24日(日) 58日間

原則として月曜日(祝日の場合翌日)は休館日

※11月2日(土)は悪天候のため休止

3 開催エリア

津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町(うちアート作品設置市町は津山市、新見市、真庭市、鏡野町、奈義町)

4 主催

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会

会 長 伊原木隆太(岡山県知事)

副会長 谷口圭三(津山市長)、石田實(新見市長)

〃 林秀樹(西日本旅客鉄道(株)理事 中国統括本部岡山支社長)

顧問 久徳大輔(岡山県議会議長)

アートディレクター 長谷川祐子(金沢21世紀美術館館長、東京藝術大学名誉教授)

地域文化アドバイザー 岸本和明(奈義町現代美術館館長)

太田三郎(現代美術作家)

構成団体 岡山県、津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、西日本旅客鉄道(株)、(公社)岡山県観光連盟、美作国観光連盟、(公社)岡山県文化連盟、岡山県教育委員会、大学コンソーシアム岡山、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山県経済団体連絡協議会、(一社)岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、(一社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、(公社)岡山県バス協会、(一社)岡山県タクシー協会、(一社)岡山県レンタカー協会、全日本空輸(株)岡山支店、日本航空(株)岡山支店、(一社)日本旅行業協会中四国支部岡山県支部、(一社)全国旅行業協会岡山県支部、岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合

(企画協力 西日本旅客鉄道株式会社)

5 ロゴマーク



デザインコンセプト

芸術祭のビジュアル・アイデンティティは、光と影の二面性から着想を得ている。そして、新鮮で現代的な色彩を用いたメッシュ状のデザインは、地元の工房で作られた繊細な草木染の織物から着想を得ており、デザインに明るさと透明感を生み出している。また、県北の自然を撮影した写真と組み合わせることで、芸術祭と景観との共生を表現することができる。

デザイナープロフィール：バーンブルック・スタジオ（イギリス）

バーンブルック・スタジオは、1990年にジョナサン・バーンブルックによって設立された。デザインは社会にポジティブな変化をもたらすことができると信じ、世界各地でさまざまな文化的、社会的プロジェクトに取り組んでいる。代表的な作品に、デヴィッド・ボウイのレコードジャケットがあり、彼の最後のアルバム「ブラックスター」では、グラミー賞を受賞している。また、日本との関係も深く、東京の森美術館や六本木ヒルズのブランディングを手がけている。

IV 来場者数

1 来場者数

	合計
有料会場	255,142 人
無料会場	268,064 人
合計	523,206 人

※来場者数は各会場の来場者延べ数、無料会場はサンプル調査による推計値

2 会場別来場者数

(1) 有料会場

(単位：人)

市町村	エリア	会場	来場者数
津山市	津山城周辺	津山まなびの鉄道館	27,396
		城西浪漫館（中島病院旧本館）	13,111
		作州民芸館	11,396
		つやま自然のふしぎ館	14,597
		津山城（鶴山公園）	39,968
		PORT ART&DESIGN TSUYAMA	8,870
		城東むかし町家（旧梶村邸）	11,442
奈義町	奈義町現代美術館周辺	奈義町現代美術館	35,635
		屋内ゲートボール場「すぱーく奈義」	30,179
真庭市	蒜山	GREENable HIRUZEN	13,714
新見市	満奇洞・井倉洞	井倉洞	11,244
		満奇洞	37,590
合計			255,142

(2) 無料会場

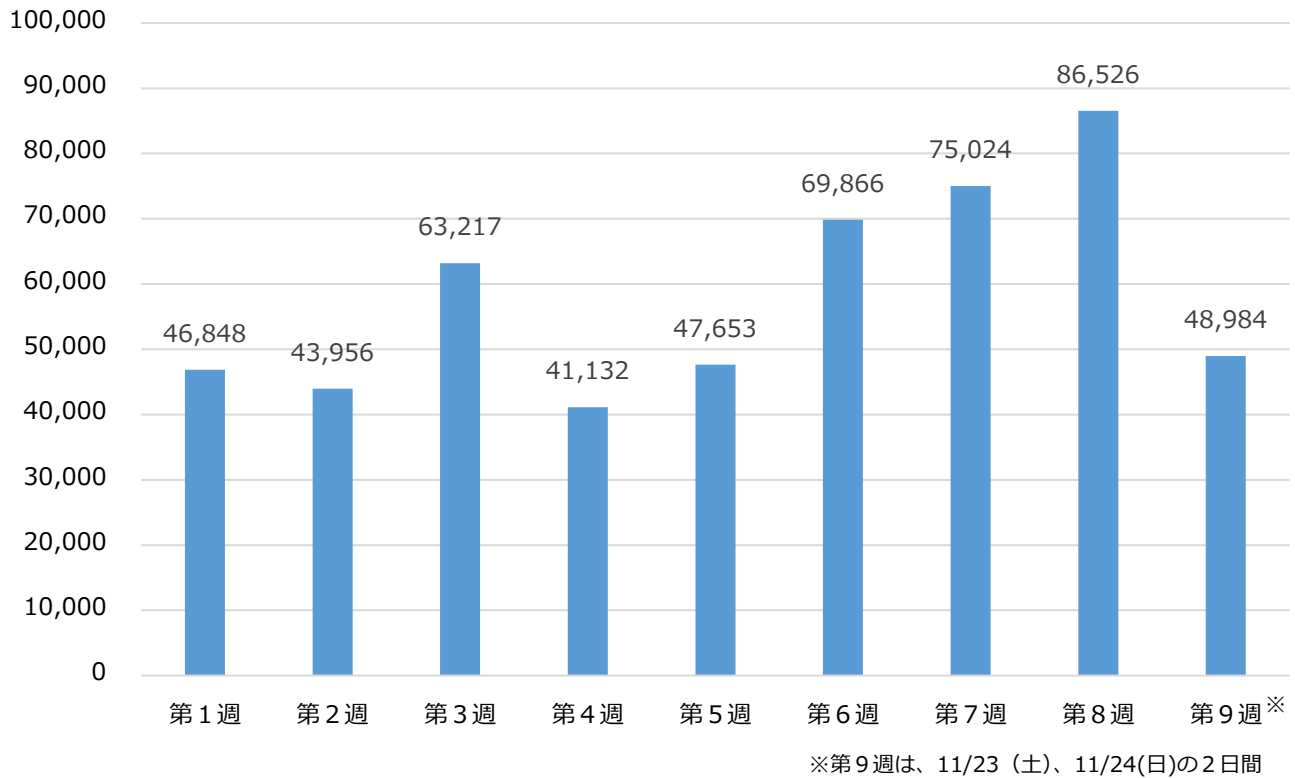
(単位：人)

市町村	エリア	会場	来場者数
津山市	津山城周辺	城下スクエア（津山国際ホテル跡地）	44,272
		衆楽園	37,152
	グリーンヒルズ津山	グリーンヒルズ津山	36,032
奈義町	奈義町現代美術館周辺	シンボルロード	2,500
鏡野町	奥津	奥津振興センター	20,832
		奥津溪	28,960
真庭市	蒜山	勝山町並み保存地区ほか	51,744
新見市	満奇洞・井倉洞	ふれあいセンター満奇	25,008
		まなびの森 新見図書館	21,564
合計			268,064

3 来場者週別推移

来場者数

(単位：人)



- ・来場者数は開幕当初から順調に推移し、会期中盤から終盤にかけてさらに増加した。
- ・第3週(10/12～10/18)は3連休により、第6週(11/2～11/8)以降開幕までは、SNS や口コミの拡散等により多くの来場者が訪れた。

V 展覧会・イベント

5市町6エリアの21会場に、12の国・地域から、現代アーティストや写真家、音楽家、ダンサー、建築家、華道家、デザイナー、染色家、工芸家、映像作家、料理シェフといった多彩なジャンルのアーティストを迎え、新作や場所を生かした作品の展示を行った。

1 展示会場

市町村	エリア	会場	開館時間	最終 入場時間	休館日 ※1
津山市	津山城周辺	津山まなびの鉄道館	9:00～16:00	15:30	月
		城西浪漫館（中島病院旧本館）	9:00～17:00	16:30 ※2	月
		作州民芸館	9:00～17:00	16:30 ※2	月
		つやま自然のふしぎ館	9:00～17:00	16:30	月 ※3
		城下スクエア（津山国際ホテル跡地）	—	—	—
		津山城（鶴山公園）	9月 8:40～19:00 10・11月 8:40～17:00	営業時間終了 の30分前	無休
		衆楽園	9:00～17:00 ※2	16:30 ※2	月
		PORT ART&DESIGN TSUYAMA	10:00～17:00	16:30	月
		城東むかし町家（旧梶村邸）	9:00～17:00	16:30	月
	グリーンヒルズ津山	グリーンヒルズ津山	—	—	—
奈義町	奈義町現代美術館周辺	シンボルロード	9/28のみイベント開催		
		奈義町現代美術館	9:30～17:00	16:30	月
		屋内ゲートボール場「すぱーく奈義」	9:00～17:00	16:30	月
鏡野町	奥津	奥津振興センター	—	—	—
		奥津溪	—	—	—
真庭市	蒜山	GREENable HIRUZEN	9:00～17:00	16:45 ※2	水
		勝山町並み保存地区ほか	—	—	—
新見市	満奇洞・井倉洞	井倉洞	8:30～17:00	16:30	無休
		ふれあいセンター満奇	9:00～16:00	—	月
		満奇洞	8:30～17:00	16:30	無休
		まなびの森 新見図書館	9:00～19:00	—	月

※1 祝日の場合は翌日（つやま自然のふしぎ館を除く。）

※2 作品設置エリアへの入場時間

※3 祝日の場合は開館。10月のみ無休。

2 参加アーティスト・作品

市町村	エリア	会場	アーティスト	主な作品名・展示作品数
津山市	[T] 津山城 周辺	[1] 津山まなびの鉄道館	[a]キムスージャ	《息づかい》
		[2] 城西浪漫館 (中島病院旧本館)	[a]ピアンカ・ボンディ	《森林浴》
			[b]江見正暢	万華鏡 9 点
			[c]ルシーラ・グラディン	《Chromatic Unfolding II》ほか 2 点
			[d]ウメッシュ・P・K	《点を中心に回転しながら深みへ》
		[3] 作州民芸館	[a]川島秀明	《Guide》ほか 1 点
			[b]難波香久三	《山を畏れる自像-くえびこの神と共に》ほか 1 点
			[c]スミッタ・G・S	《幸福》
			[d]ムハンナド・ショノ	《意味を失うことについて》
			[e]染谷悠子	《薄曇りの空のカペラ》ほか 4 点
		[4] つやま自然のふしぎ館	[a]ソフィア・クレスポ	《危機的な現存》
		[5] 城下スクエア (津山国際ホテル跡地)	[a]ジャコモ・ザガネッリ	《津山ピンポン広場》 【恒久設置作品】
		[6] 津山城 (鶴山公園)	[a]アシム・ワキフ	《竹の鼓動》
	[7] 衆楽園	[a]加藤萌	《微睡みを》	
		[b]甲田千晴	《枯鳥》	
		[c]森夕香	《リゾーム》	
		[d]太田三郎	《庭の情景》ほか 4 点	
		[e]リクリット・ティラヴァニ	《無題 2024 (水を求めて森を探す)》	
	[8] PORT ART&DESIGN TSUYAMA	[a]パオラ・ベザーナ	《パオラへの扉》ほか 20 点	
[b]志村信裕		《beads》ほか 1 点		
[9] 城東むかし町家 (旧梶村邸)	[a]タレク・アトウイ	《うちなる庭》		
	[b]片桐功敦	《風土》		
	[c]八木夕菜	《茶徳》 (作品 5 点)		
[G] グリーン ヒルズ 津山	[10] グリーンヒルズ津山	[a]エルネスト・ネット	《スラッグバッグ》	
奈義町	[N] 奈義町 現代 美術館 周辺	[11] シンボルロード	[a]森山未来 (9/28 のみ)	《さんぶたろう祭り》
		[12] 奈義町現代美術館	[a]サンドラ・シント	《未来のための宇宙論》 【恒久設置作品】
			[b]AKI INOMATA	《昨日の空を思い出す》
			[c]磯崎 新	《エンジェル・ケージ》ほか計 7 件のプロジェクトのアーカイブ
			[d]森山未来	《さんぶたろう祭り》 ※アーカイブ展示
	[e]坂本龍一+高谷史郎		《TIME-déluge》	
[13] 屋内ゲートボール場 「すばやく奈義」	[a]レアンドロ・エルリッヒ	《まっさかさまの自然》		
鏡野町	[O] 奥津	[14] 奥津振興センター	[a]ジェンチョン・リョウ	《山に響くこだま》 【恒久設置作品】
		[15] 奥津溪	[a]立石従寛	《跡》

市町村	エリア	会場	アーティスト	主な作品名・展示作品数
真庭市	[H] 蒜山	[16] GREENable HIRUZEN	[a] 東勝吉	《オニ杉》ほか9点
			[b] 東山詩織	《Formation Chart》ほか2点
			[c] 川内倫子	《無題》から計33点（写真作品31点、映像作品2点）
			[d] 上田義彦	シリーズ《Materia Water》から8点
		[17] 勝山町並み保存地区ほか	[a] 妹島和世	《あしあと》 【恒久設置作品】
新見市	[M] 満奇洞・井倉洞	[18] 井倉洞	[a] アンリ・サラ	《未来はかすかに響く歌》
		[19] ふれあいセンター満奇	[a] 杉浦慶侓	《新見山》
		[20] 満奇洞	[a] 蜷川実花 with EiM	《深淵に宿る、彼岸の夢》
		[21] まなびの森 新見図書館	[a] マイケル・リン	《スタンダードカラー 2024》 【恒久設置作品】
その他		THE HILLS HOUSE TSUYAMA 作東バレンタインホテル ホテルグランヴィア岡山	鈴鹿成年	《パルフェ レザン ～ぶどうのうるおい～》ほか2点

※作品が複数ある場合は代表的な作品名を記載

※[]内は会場やアーティストごとの記号・番号

(例) T1-a (津山城周辺エリア 津山まなびの鉄道館 キムスージャ)



キムスージャ《息づかい》2024
会場:津山まなびの鉄道館
[T1-a]

①



ピアンカ・ボンディ《森林浴》2024
会場:城西浪漫館(中島病院旧本館)
[T2-a]

②



江見正暢 展示風景 2024
会場:城西浪漫館(中島病院旧本館)
[T2-b]

③



ルシーラ・グラディン《Chromatic Unfolding II》2023
会場:城西浪漫館(中島病院旧本館)
[T2-c]

④



ウメッシュ・P・K《点を中心に回転しながら深みへ》2024
会場:城西浪漫館(中島病院旧本館)
[T2-d]

⑤



川島秀明《Guide》2023
会場:作州民芸館
[T3-a]

⑥



難波香久三《山を畏れる自像ーくえびこの神と共に》1976
会場:作州民芸館
[T3-b]

⑦



スミッタ・G・S《幸福》2024
会場:作州民芸館
[T3-c]

⑧



ムハンナド・ショノ《意味を失うことについて》2024
会場:作州民芸館
[T3-d]

⑨

① 撮影:顧 剣亨

②~⑨ 撮影:顧 剣亨 写真提供:JR西日本



染谷悠子 展示風景 2024
会場:作州民芸館
[T3-e]

⑩



ソフィア・クレスポ《危機的な現存》2022
会場:つやま自然のふしぎ館
[T4-a]

⑪



ジャコモ・ザガネリ《津山ピンボン広場》2024
会場:城下スクエア(津山国際ホテル跡地)
[T5-a]
【恒久設置作品】

⑫



アシム・ワキフ《竹の鼓動》2024
会場:津山城(鶴山公園)
[T6-a]

⑬



加藤萌《微睡みを》2022
会場:衆楽園
[T7-a]

⑭



甲田千晴《枯鳥》2011
会場:衆楽園
[T7-b]

⑮



森夕香《リズム》2024
会場:衆楽園
[T7-c]

⑯



太田三郎《庭の情景》2024
会場:衆楽園
[T7-d]

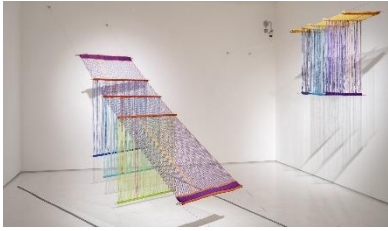
⑰



リクリット・ティラヴァニャ《無題 2024 (水を求めて森を探す)》2024
会場:衆楽園
[T7-e]

⑱

⑩～⑱ 撮影:顧 剣亨 写真提供:JR西日本



パオラ・ペザーナ 展示風景 2024
会場:PORT ART&DESIGN TSUYAMA
[T8-a]

⑱



志村信裕《beads》2012/2023
会場:PORT ART&DESIGN TSUYAMA
[T8-b]

⑳



タレク・アトウイ《うちなる庭》2024
会場:城東むかし町家(旧梶村邸)
[T9-a]

㉑



片桐功敦《風土》2024
会場:城東むかし町家(旧梶村邸)
[T9-b]

㉒



八木夕菜《茶徳(翫味)》2024
会場:城東むかし町家(旧梶村邸)
[T9-c]

㉓



エルネスト・ネット《スラッグバグ》2024
会場:グリーンヒルズ津山
[G10-a]

㉔



森山未来《さんぶたろう祭り》2024
会場:シンボルロード
[N11-a][N12-d]

㉕



サンドラ・シント《未来のための宇宙論》2024
会場:奈義町現代美術館
[N12-a]
【恒久設置作品】
※写真は芸術祭開催中の展示作品

㉖



AKI INOMATA《昨日の空を思い出す》
2022-
会場:奈義町現代美術館
[N12-b]

㉗

⑱, ⑳, ㉒~㉔, ㉗ 撮影:顧 剣亨 写真提供:JR西日本
㉑ 撮影:浅野 豪 写真提供:JR西日本
㉕ 撮影:井上嘉和 写真提供:JR西日本



磯崎新 展示風景 2024
会場: 奈義町現代美術館
[N12-c]

②8



坂本龍一＋高谷史郎《TIME-déluge》2023
会場: 奈義町現代美術館
[N12-e]

②9



レアンドロ・エルリッヒ《まっさかさまの自然》
2024
会場: 屋内ゲートボール場「すぱーく奈義」
[N13-a]

③0



ジェンチョン・リョウ《山に響くこだま》2024
会場: 奥津振興センター
[O14-a]
【恒久設置作品】

③1



立石従寛《跡》2024
会場: 奥津溪
[O15-a]

③2



東勝吉 展示風景 2024
会場: GREENable HIRUZEN
[H16-a]

③3



東山詩織《Formation Chart》2023
会場: GREENable HIRUZEN
[H16-b]

③4



川内倫子《無題》2024
会場: GREENable HIRUZEN
[H16-c]

③5



上田義彦 展示風景 2024
会場: GREENable HIRUZEN
[H16-d]

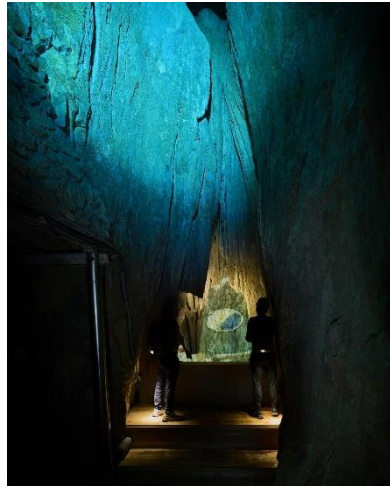
③6

②8～③0 撮影: 顧 剣亨 写真提供: JR西日本
③1～③6 撮影: 浅野 豪 写真提供: JR西日本



妹島和世《あしあと》2024
会場:勝山町並み保存地区ほか
[H17-a]
【恒久設置作品】

③7



アンリ・サラ《未来はかすかに響く歌》2024
会場:井倉洞
[M18-a]

③8



杉浦慶侘《新見山》2010-2024
会場:ふれあいセンター満奇
[M19-a]

③9



蛭川実花 with EiM《深淵に宿る、彼岸の夢》
2024
会場:満奇洞
[M20-a]

④0



マイケル・リン《スタンダードカラー 2024》2024
会場:まなびの森 新見図書館
[M21-a]
【恒久設置作品】

④1



鈴鹿成年《パルフェ レザン ～ぶどうのうるおい～》2024
会場:THE HILLS HOUSE TSUYAMA、作
東パレンティンホテル、ホテルグランヴィア岡山

④2

③7～③9,④1 撮影:浅野 豪 写真提供:JR西日本
④0 撮影:蛭川 実花

3 アートイベント

会期中に参加アーティスト等と地域が連携して様々なアートイベントを開催した。

市町村	イベント名	開催日	場所
津山市	参加アーティストによるスペシャルトークイベント 「Chat in the Forest」 ＜参加アーティスト＞ AKI INOMATA、アシム・ワキフ、アンリ・サラ、 エルネスト・ネット、ジェンチョン・リョウ、 ジャコモ・ザガネッリ、高谷史郎、森山未来、 八木夕菜、レアンドロ・エルリッヒ	2024/9/29	津山洋学資料館
津山市	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」×岡山リベッツ 市民交流イベント ＜参加アーティスト＞ ジャコモ・ザガネッリ	2024/10/19	城下スクエア (津山国際ホテル跡地)
津山市	いのち 生命の雫 柿ゼリー完成記念 衆楽園で太田散歩 ＜参加アーティスト＞ 太田三郎	2024/11/16,17	衆楽園
奈義町	サンドラ・シント氏の作品のためのワークショップ ＜監修アーティスト＞ サンドラ・シント	2024/10/6,12	奈義町文化センターほか
真庭市	野外演劇ツアー 家を渉る劇「バイオマス・マクベス」	2024/11/17	真庭バイオマス発電所ほか
	アフターイベント トークセッション「循環の輪舞 - 都市と森を紡ぐあらたな共生 -」	2025/2/21	勝山木材ふれあい会館



Chat in the Forest (津山市)



岡山リベッツとの市民交流イベント (津山市)



作品のためのワークショップ (奈義町)

4 開幕関連行事

(1) レセプション

- ・日 時 2024年9月27日(金) 16:30~18:30
- ・会 場 Globe Sports Dome (津山市大田 「グリーンヒルズ津山」内)
- ・参加者 アーティスト、実行委員会委員、協賛企業等 約200人
- ・内 容 あいさつ 実行委員会会長 伊原木隆太
アートディレクター 長谷川祐子
アーティスト紹介・フォトセッション
音楽パフォーマンス ピアニスト 中島結里愛(津山中学3年生)



(2) 森山未来パフォーマンス鑑賞

- ・日 時 2024年9月27日(金) 20:00~21:00
- ・会 場 奈義町シンボルロード



(3) 開幕式

- ・日 時 2024年9月28日(土) 9:00~9:30
- ・会 場 衆楽園 迎賓館前庭園 (津山市山北)
- ・参加者 実行委員会委員、国会議員、県議会議員等 約60人
- ・内 容
あいさつ 実行委員会会長 伊原木隆太
アートディレクター 長谷川祐子
アーティスト代表 太田三郎
テープカット
和太鼓祝賀演奏 (鶴山桜太鼓)



(4) 内覧ツアー

- ・日 程 2024年9月27日(金) ~28日(土)
- ・概 要 芸術祭の開幕に合わせて関係者を招待し、作品展示会場を巡るツアーを実施した。
- ・参加者 約70人



5 お見送り行事

- ・日 時 2024年11月24日(日)
- ・場 所 JR津山駅前
- ・概 要 オフィシャルツアーバス等の最終便の到着に合わせ、長谷川アートディレクター、事務局スタッフがお見送りを実施した。また、屋内作品設置会場、インフォメーションセンターには、来場お礼のメッセージ文を設置した。



VI 来場者への対応

アート作品設置 5 市町にインフォメーションセンターを設置した。また、会場周辺には展示会場や駐車場への案内サインを設置するとともに、会場を運営するスタッフにはバリアフリー研修を実施するなど、来場者の利便性と満足度の向上に努めた。

1 インフォメーションセンター

アート作品設置 5 市町にインフォメーションセンターを設置し、ガイドマップやリーフレット等を用いて会場案内や観光地等の情報を提供した。また、鑑賞券や公式グッズ、公式ガイドブックを販売した。

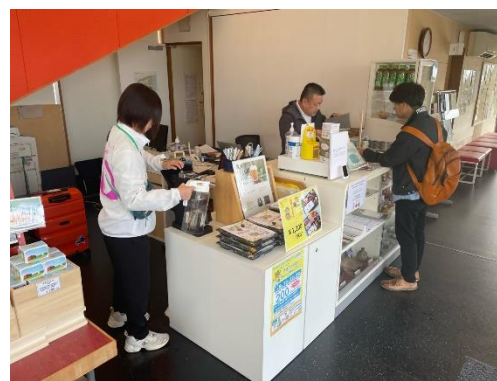
市町村	設置個所	開館情報		機能			
		休館日	開館時間	案内	鑑賞券 販売・引換	グッズ等 販売	プレス 対応
津山市	JR 津山駅	月	9:00～17:00	○	○	○	○
奈義町	ナギテラス	月	9:00～17:00	○	○	○	○
鏡野町	奥津振興センター	月	9:00～17:00	○	×	○	○
真庭市	GREENable HIRUZEN	水	9:00～17:00	○	○	○	○
新見市	井倉洞	無休	8:30～17:00	○	○	○	○



JR 津山駅



GREENable HIRUZEN



ナギテラス

2 案内サイン

(1) 会場への案内

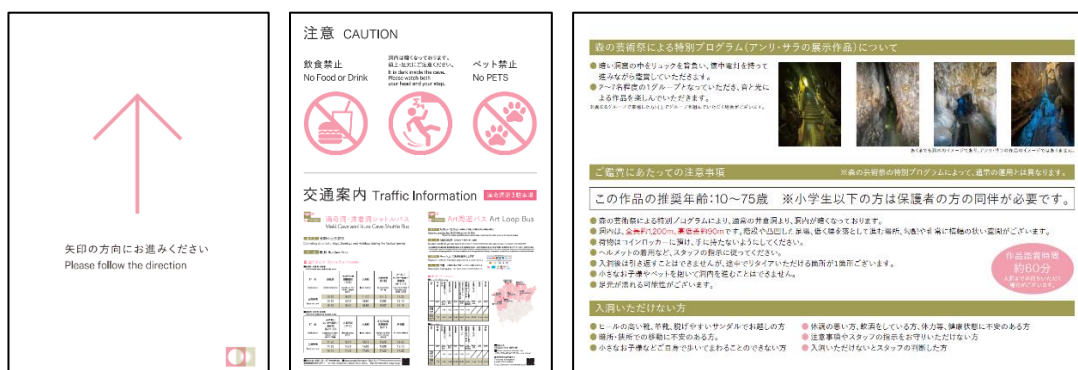
来場者に対し、ロゴのカラーを基調とした会場への案内看板等を各所に設置した。



デザイン：SPREAD

(2) 会場内での案内

来場者がスムーズに作品鑑賞できるよう、鑑賞にあたっての注意事項等を記載した案内サインを設置した。



(3) 駐車場への案内

自家用車やレンタカー利用の来場者に対し、会場付近の駐車場に案内サインを設置するとともに、公式Webサイト等で駐車場情報を提供した。



デザイン：SPREAD

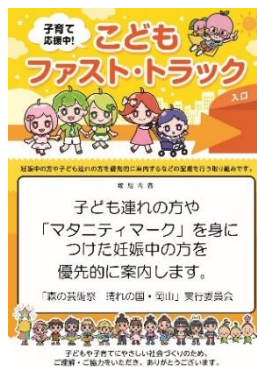
3 バリアフリー対応

作品展示会場に筆談ボードを設置した。また、一部会場ではタブレットを使用した動画視聴による作品鑑賞や、妊婦やこども連れの方を優先する取組「こどもファスト・トラック」などの対応を行った。

会場を運営するスタッフに対しては、バリアフリー研修を実施し、資料の構成等について美術大学社会福祉学科に助言をいただいた。



タブレットを使用した動画視聴



こどもファスト・トラック
の案内サイン

4 多言語対応

会場サインや公式 Web サイト、ガイドマップなどを日英表記とし、各会場に翻訳機能付きの IoT 機器を設置した。

5 ユニフォーム・パス

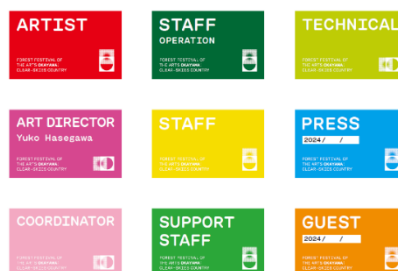
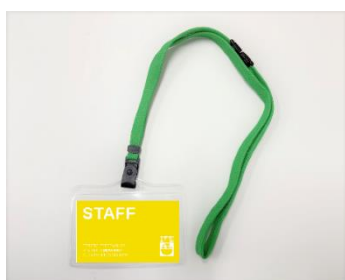
会場の運営スタッフ用のユニフォーム及び運営スタッフやアーティストなどが着用するパスを制作した。



ユニフォーム (ホワイト)



ユニフォーム (ライムエード)



関係者パス

デザイン：株式会社シファカ

VII サポートスタッフ

芸術祭の成功には、多くのサポートスタッフの協力が不可欠であり、会期中の会場運営サポートのみならず、作品制作・イベントにおいても多大な協力をいただいた。また、企業単位で特定の会場においてサポートスタッフとして活動いただいた。

1 募集

(1) 募集期間

2023年12月5日(火)～2024年10月31日(木)

※作品制作・イベントの運営補助は2024年8月以降、順次個別に募集を実施

(2) 応募方法

公式 Web サイト

(3) 活動内容

[会場運営]

各会場及びインフォメーションセンター付近での誘導案内、作品看視、会場清掃、作品の簡易ガイド等

[作品制作・イベントの運営補助]

作品制作に使用する資材の組立てやペイント作業、開幕前イベントの誘導案内等

(4) 活動日時

2024年9月28日(土)～11月24日(日)

※9:00-12:00/12:00-15:00/14:00-17:00の3シフトから選択可。複数稼働も可

※作品制作・イベントの運営補助の活動は2024年8月以降の特定の日時を個別に設定

(5) 待遇

- ・活動は無償
- ・原則、活動に伴う食事代または交通費相当分を支給(500円/1シフトのQUOカードを配布)
- ・活動の最終日以降に希望者へ「修了証」を発行
- ・活動時はボランティア保険を適用
- ・鑑賞パスポートを1人1枚進呈

(6) 周知活動

テレビ・ラジオ・各種SNS・新聞広告・県及び市町村広報紙等での告知や、大学コンソーシアム岡山、まちづくり協議会、各経済団体等を通じた呼びかけを行った。

2 実績

(1) 応募・活動人数

(単位:人)

区分	会場運営			作品制作・イベント			全体		
	応募人数	活動人数	延べ人数	応募人数	活動人数	延べ人数	応募人数	活動人数	延べ人数
一般	308	272	448	90	78	235	398	350	683
企業	223	214	246	—	—	—	223	214	246
合計	531	486	694	90	78	235	621	564	929

【作品制作・イベント内訳】

(単位:人)

アーティスト名	活動内容	活動日	延べ人数
レアンドロ・エルリッヒ	フェイクツリー組立て作業	2024/8/22～8/25	115
	ウッドチップを鉢植えに移す作業	2024/9/24、25	16
アシム・ワキフ	竹の運搬作業	2024/9/12、13	12
	作品制作補助作業	2024/9/20～9/26	16
マイケル・リン	ペイント作業	2024/9/4～9/15	53
片桐功敦	麦の仕分け作業	2024/9/23～9/25	23



会場運営 (井倉洞)



作品制作 (レアンドロ・エルリッヒ)



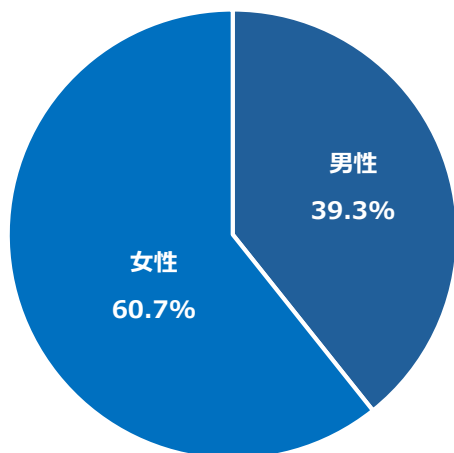
作品制作 (アシム・ワキフ)



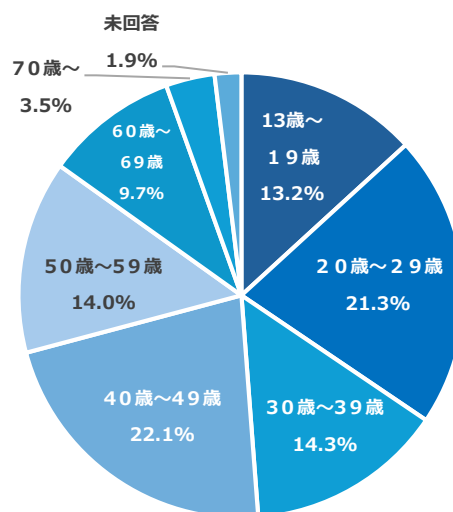
作品制作 (マイケル・リン)

(2) 属性データ (応募者 621 人)

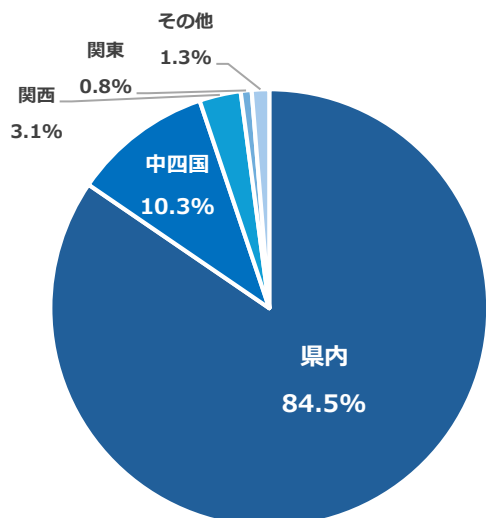
性別



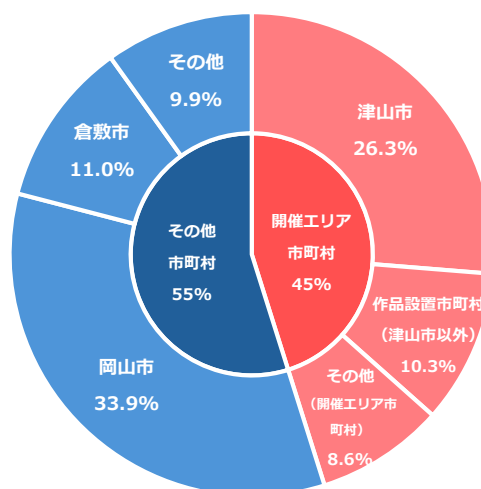
年齢



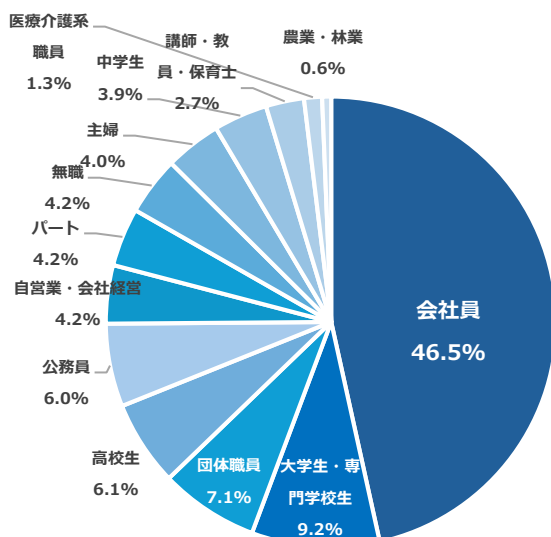
居住地 (全体)



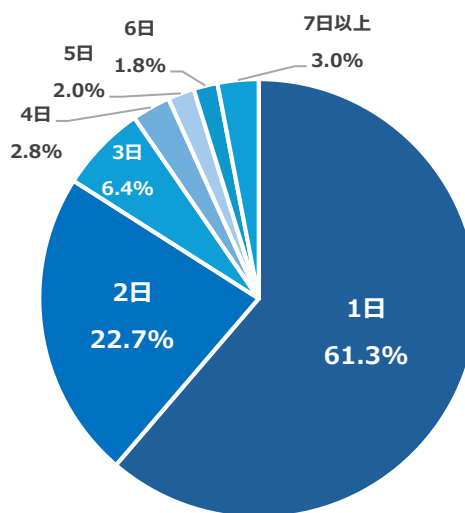
居住地 (県内内訳)



職業区分



1人あたりの活動日数※



※「1人あたりの活動日数」は活動人数 564 人の実績データに基づくもの。

3 研修

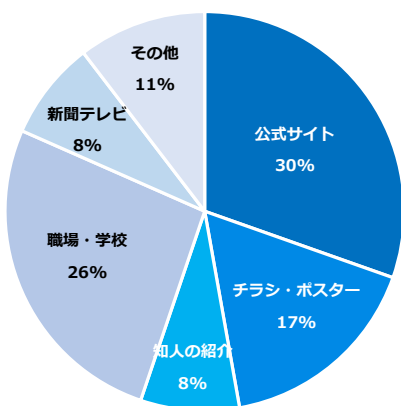
会場運営のサポートスタッフに向けて研修を実施した。なお、オンライン研修のみの参加も可能とした。

研修名	開催日	場所	研修内容
全体研修	2024/9/5	津山市	芸術祭の概要/各会場の概要/1日の流れ/マナー研修/バリアフリー研修
集合研修	2024/9/15	岡山市	芸術祭の概要/各会場の概要/1日の流れ/マナー研修/バリアフリー研修
	2024/9/25 ※2回/日開催	津山市	
	2024/9/26	新見市	
オンライン研修	2024/8/1～11/24	オンライン	芸術祭の概要/各会場の概要/1日の流れ/マナー研修/鑑賞パスポートの取扱い/トラブルシューティング/稼働報告/シフト申請の流れ/バリアフリー研修/アーティスト概要/作品概要/駐車場

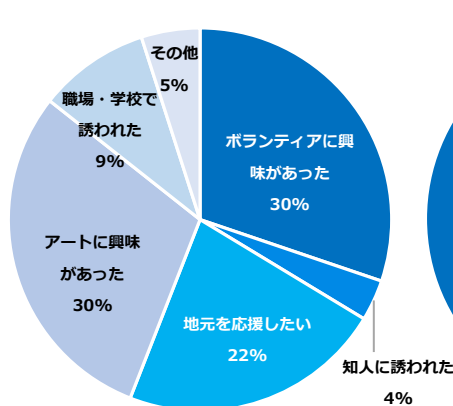
4 サポートスタッフ向けアンケート

サポートスタッフにアンケート調査を実施した。(回答者数 102 人)

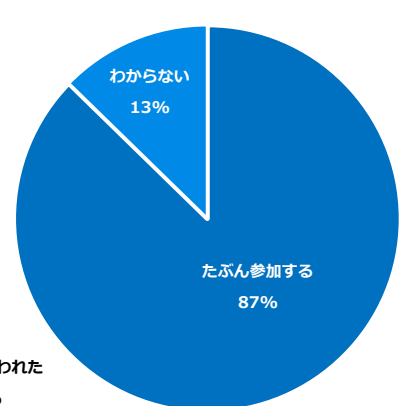
参加のきっかけ（複数回答）



参加理由（複数回答）



次回の参加意欲



【自由記述（主な意見）】

- ・貴重な体験をさせていただいた。活動が終わった後、テレビなどで知ることもあったので、あらかじめ情報があればもっと参加できた。
- ・運営の方の対応はメールでも実際のボランティア活動でもとても丁寧でありがたかった。
- ・気軽に参加できてよかった。
- ・どこの会場に必要とされているのか等が応募時に分かればよかった。

5 企業参加

JR 西日本グループ、GON JOB、(株) ちゅうぎんフィナンシャルグループ、(株) トヨタレンタリース岡山

VIII 広報

本芸術祭の認知拡大や参加促進を図るため、行政や報道機関、観光関係団体等の様々なルートから、各ターゲットに応じた情報発信を行った。また、公式 Web サイトや SNS 等の媒体を活用し芸術祭に関する情報を準備段階から発信するなどにより、芸術祭や地域の魅力を伝え期待感の醸成に繋げた。

1 メディア露出実績

新聞、テレビ、雑誌等のメディアを通じて広く発信され、確認できた露出件数は1,238件であった。

(単位：件)

種別	件数	内訳		
		県内	県外	海外
新聞	136	109	27	0
テレビ	99	96	3	0
雑誌	42	4	38	0
ラジオ	25	18	7	0
Web サイト	889	97	792	0
SNS	47	0	27	20
合計	1,238	324	894	20

○ 主な実績

新聞	山陽新聞、読売新聞（全国面）、朝日新聞（関西面）
テレビ	NHK「日曜美術館アートシーン」 ABC テレビ「朝だ！生です旅サラダ」 NHK『もぎたて！「森芸アートシーン」』（全19回）
雑誌	Casa BRUTUS、婦人画報、オセラ
ラジオ	ラジオ関西「美の国 Clip 特別編」
Web サイト	Tokyo Art Beat、美術手帖、ELLE ONLINE
SNS	Pen、GQ JAPAN、寧淨※
	※ 台湾と日本のアートの情報を発信するウェブメディア

2 国内向け広報

(1) プレイベント

① アーティスト・イン・レジデンス

国内外からアーティスト2人を招聘し、作品制作及びトークイベント等を実施した。

■AKI INOMATA

実施日	会場	内容	参加者
2022/11/1～8	奈義町	作品制作や芸術祭本番に向けたリサーチ活動	-
2022/11/5	奈義町現代美術館	アーティストトーク「森の芸術祭 晴れの国・岡山」に期待すること 等 AKI INOMATA 花房香 (S-HOUSE Museum 館長) 岸本和明 (奈義町現代美術館館長)	31人



アーティストトーク



作品制作風景

■ジャコモ・ザガネッリ

実施日	会場	内容	参加者
2022/11/4～12/1	津山市、奈義町	芸術祭本番に向けたリサーチ活動及び地域の方や団体との交流	-
2022/11/6	INN-SECT (津山市)	アーティストトーク「これまでの活動や今後のレジデンス事業」	27人
2022/11/27	INN-SECT (津山市)	アーティストトーク「岡山県北でのレジデンス活動を経て」	27人



アーティストトーク



地域住民との交流会

② シンポジウム

地域の機運醸成と芸術祭の全国的な認知度向上を図ることを目的に、シンポジウムを開催した。

実施日	会場	内容	参加者
2023/12/3	ザ・シロヤマテラス 津山別邸	<第1部>パネルディスカッション 「森の芸術祭は地域に何をもたらすのか」 登壇者：伊原木隆太 実行委員会会長 長谷川祐子 アートディレクター 和田優輝 (株)和田デザイン事務所代表 <第2部>トークセッション 「“森”の魅力とアート」 登壇者：長谷川祐子 アートディレクター 森山未来 俳優/ダンサー	300人



パネルディスカッション



トークセッション

③ トークイベント

アート作品設置5市町において、長谷川アートディレクターが地元関係者やまちづくり関係者、一般参加者等と交流を図るため、トークイベントを開催した。

実施日	会場	参加アーティスト	参加者
2023/12/2	奈義町現代美術館（奈義会場）	森山未来	43人
2024/3/16	旧奥津商工会館（鏡野会場）	立石従寛	31人
2024/3/16	旧遷喬尋常小学校（真庭会場）	妹島和世	54人
2024/3/17	THE HILLS HOUSE TSUYAMA（津山会場）	太田三郎 ビアンカ・ボンディ	41人
2024/3/17	NiU 新見駅西サテライト（新見会場）	-	36人



鏡野会場



津山会場

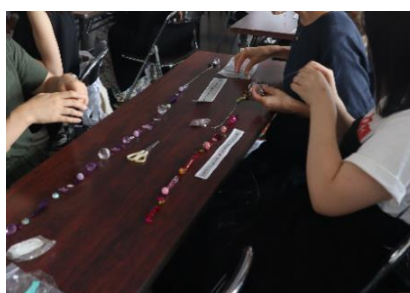
④ 開幕前イベント

芸術祭の機運醸成や盛り上げを図るため、参加アーティストである蜷川実花氏によるトークイベントを実施した。また、併せて開催したワークショップで制作したクリスタルを、芸術祭会期中に作州民芸館で展示した。

実施日	会場	内容	参加者
2024/8/31	作州民芸館	蜷川実花氏とのクリスタルなどを用いたワークショップ	- ※悪天候のため中止
2024/9/1	作州民芸館	蜷川実花氏と長谷川アートディレクターによるトークイベント及びワークショップ	45人



トークイベント



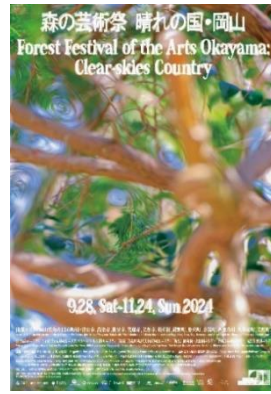
ワークショップ

(2) 広報制作物

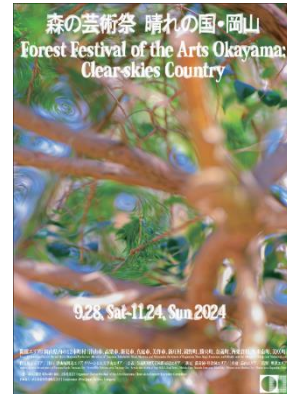
媒体	規格・部数	掲出・配布場所
ポスター	A2判 1,000枚 B1判 1,500枚 B2判 3,000枚	観光施設、店舗、JR西日本中国・九州管内主要駅 等
フライヤー	50,000部	12市町村及び各種イベント会場 等
ガイドマップ	B3判(折B6) 44,000部	作品展示会場 等
公式ガイドブック	A5判 5,500部 価格 990円(税込)	インフォメーションセンター、ECサイト等で販売
カタログ	B5判 3,000部 価格 3,300円(税込)	全国の書店・ECサイトで販売
のぼり	300枚	エリア内各所、イベント会場 等
大型フラッグ		JR岡山駅構内
懸垂幕		岡山県庁



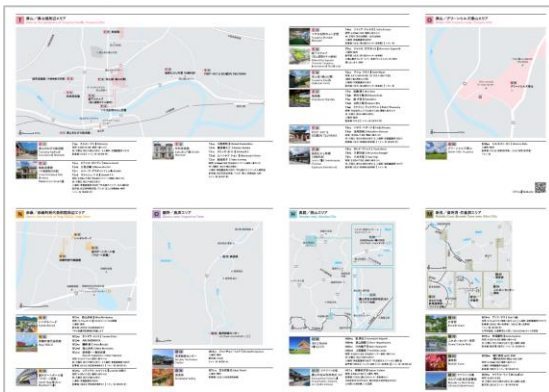
ポスター (A版)



ポスター (B版)



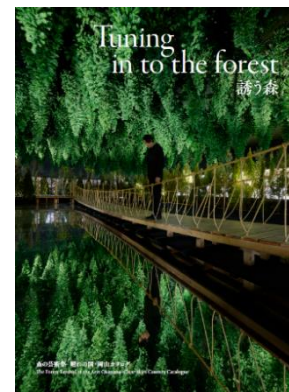
フライヤー



ガイドマップ



公式ガイドブック



カタログ



のぼり



大型フラッグ (JR岡山駅)



懸垂幕 (岡山県庁)

(3) 公式 Web サイト

- ・アーティスト、展示会場、観光スポット、鑑賞券、交通アクセス、周遊モデルコース、イベント等の情報を発信した。
- ・Google Map を活用し、観光地や飲食店、各作品展示会場へのアクセスに必要な情報 (バス停、タクシー乗り場等) などを掲載し、来訪者の利便性向上を図った。



公式 Web サイトデザイン



Google Map を活用した観光地等の紹介

■2023/11～2024/12 の公式 Web サイト閲覧回数 237 万回



- ・開幕日（9/28）は 51,000 件を超える閲覧があった。

(4) 動画

- ・アート作品展示会場の紹介動画を制作し、公式 Web サイトやイベント会場、JR 岡山駅デジタルサイネージ等で活用した。
- ・アーティストへのインタビュー動画を制作し、公式 Web サイトや SNS 等で活用した。



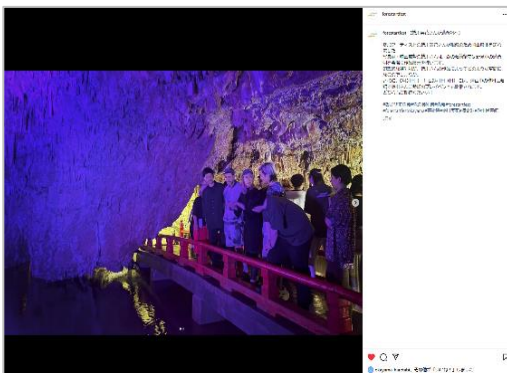
アート作品展示会場紹介動画

アーティストインタビュー動画

(5) SNS

- ・Instagram（フォロワー8,055人）、X（フォロワー3,402人）、Facebook（フォロワー571人）を運用し、フォロワー数は開幕直前から大幅に増加した。 ※フォロワー数は2024/12/15時点
- ・作品制作の様子やイベント情報、開催エリアの見どころなどの情報を約250回投稿し、特に作品やアーティストの紹介に関する投稿に対し反響が大きかった。

■Instagram 投稿例



(6) 広告

① 山陽新聞記事掲載

掲載日	スペース	掲載内容
2024/1/6	15 段カラー	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」シンポジウム採録
2024/6/16	半 5 段カラー	鑑賞パスポート前売販売
2024/7/15	半 5 段カラー	オフィシャルツアー募集
2024/8/25	10 段カラー見開き	開催概要、アーティストと地域の連携、鑑賞パスポート前売販売、サポートスタッフ募集
2024/9/16	15 段カラー	モデルコース紹介、特製パフェ販売、オフィシャルツアー募集、鑑賞パスポート前売販売
2024/9/23	10 段カラー見開き	12 市町村観光スポット・グルメ紹介
2024/10/27	15 段カラー	開催概要、鑑賞パスポート販売、特製パフェ販売

② JAL「SKYWARD」記事掲載

- ・2024 年 9 月号 長谷川アートディレクターと妹島和世氏対談、芸術祭概要

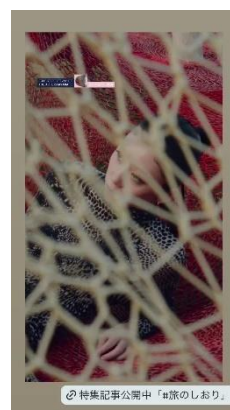
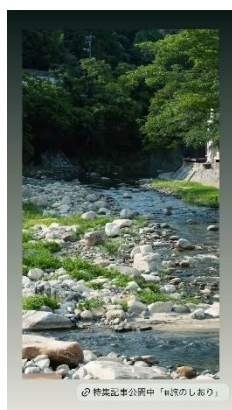
③ ANA「翼の王国」記事掲載

- ・2024 年 10 月号「ニッポン探訪」芸術祭概要

④ SNS 広告

特集記事「旅のしおり」の動画を制作し、2024 年 7 月、9 月、11 月の 3 回に分け、広告を配信した。

- ・合計表示回数：403,531 回
- ・合計クリック数：11,444 回



(7) 県広報紙の活用

県広報紙「晴れの国おかやま」への掲載 5 回

2024 年 2 月号 サポートスタッフ募集

4 月号 今秋「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開催

6 月号 サポートスタッフ募集

8 月号 鑑賞パスポート前売中

10 月号 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」を開催中！



(8) 各種イベントにおけるブース出展等

県内外の様々なイベントや会合において、積極的にブース出展や芸術祭のPR・説明を行った。

■主なイベント

開催日	イベント名	会場
2023/6/8	岡山県博物館協議会総会	岡山県立美術館（岡山市）
2023/6/24～25	おかやま夏旅キャンペーンPR イベント	JR大阪駅大阪ステーションシティアトリウム広場（大阪府大阪市）
2023/6/25	東海岡山県人会懇親会	東京第一ホテル錦（愛知県名古屋市）
2023/7/1	ファジアーノ県民応援デー	岡山県総合グラウンド（岡山市）
2023/7/1	おかやま夏旅キャンペーンオープニングセレモニー	イオンモール岡山（岡山市）
2023/7/22～23	おかやま夏旅キャンペーンPR イベント	有楽町駅前広場（東京都千代田区）
2023/8/5～6	イオンレイクタウン「山陽フェア」	イオンレイクタウン店（埼玉県越谷市）
2023/9/1	マツダスタジアム「岡山県デー」	Mazda Zoom-Zoom スタジアム広島（広島県広島市）
2023/9/1	東京岡山県人会	ザ・キャピトルホテル東急（東京都千代田区）
2023/9/30	全国植樹祭植樹イベント	恩原高原（鏡野町）
2023/10/5	近畿おかやま会 県人の集い	ANA クラウンプラザホテル大阪（大阪府大阪市）
2023/10/8	岡山桃太郎空港の日フェスタ 2023	岡山桃太郎空港（岡山市）
2023/10/21	全国植樹祭植樹イベント	おおさ総合センター（新見市）
2023/11/3～4	マルイフードフェスタ	グリーンヒルズ津山・リージョンセンター（津山市）
2023/11/11～12	おかやまマラソン EXP02023	岡山県総合グラウンド（岡山市）
2024/1/24	日本旅行業協会中四国支部岡山地区委員会セミナー	第一セントラルビル（岡山市）
2024/2/22	第6回未来まちづくりフォーラム	東京国際フォーラム（動画出演）
2024/2/24	真庭 SDGs 円卓会議	エスパスセンター（真庭市）
2024/3/11	韓国現地商談会	コリアナホテル（ソウル）
2024/4/7	津山さくらまつり	鶴山公園（津山市）
2024/5/26	全国植樹祭	岡山県総合グラウンド（岡山市）
2024/6/11	新見市連絡協議会	新見市役所（新見市）
2024/6/15～16	WONDERFUL SETOUCHI10周年記念イベント	杜の街グレース（岡山市）
2024/6/19	岡山県観光連盟総会	岡山国際ホテル（岡山市）
2024/6/27	ホテルグランヴィア語りの会	ホテルグランヴィア岡山（岡山市）
2024/6/30	東海岡山県人会懇親会	東京第一ホテル錦（愛知県名古屋市）
2024/7/3	京都県人会定例会	京都ガーデンパレス（京都府京都市）
2024/7/8	森の芸術祭 奈義町実行委員会会議	奈義町役場（奈義町）
2024/7/26	美作国商工団体連絡協議会総会	ザ・シロヤマテラス津山別邸（津山市）
2024/8/3～4	津山納涼ごんごまつり	吉井川河川緑地公園他（津山市）

開催日	イベント名	会場
2024/8/6	おかやま SDGs フェア 2024	岡山コンベンションセンター（岡山市）
2024/9/2～8	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」PRキャラバン in ハレチカ	さんすてハレチカ広場（岡山市）
2024/9/10	マツダスタジアム「岡山県デー」	マツダスタジアム（広島県広島市）
2024/9/19	県内 5 か所の駅での PR 活動	JR 岡山駅・倉敷駅・津山駅・新見駅・中国勝山駅前広場
2024/10/1	津山・城西まると博物館フェア	作州民芸館周辺（津山市）
2024/10/13～14	美作大学学園祭	美作大学（津山市）
2024/10/25	「高校生と考える観光まちづくりシンポジウム」事前研修会	津山商業高校（津山市）

3 海外向け広報

- ・公式 Web サイトにおける英語での情報発信、県観光課と連携した現地旅行博での PR や SNS での投稿等を行い、海外からの誘客に取り組んだ。
- ・世界中の美術関係機関のプレスリリースを共有するサイト「e-flux」を活用し、PR を行った。
- ・県観光連盟と連携し、訪日外国人観光向け WEB メディア「MATCHA」へ記事掲載を行った。

4 メディア向け広報

(1) 各種メディアへの発信

① 記者会見

開催日 2022 年 10 月 31 日（月）

会 場 ザ・シロヤマテラス津山別邸

内 容 長谷川アートディレクターから芸術祭概要説明

AKI INOMATA 氏からアーティスト・イン・レジデンスの展望説明

参加者 14 媒体 17 人



記者会見会場



フォトセッション

② メディア説明会（県内） ※旅行会社向け説明会と同時開催

開催日 2024年6月7日（金）

会場 岡山県立図書館

内容 芸術祭概要や参加アーティストによる作品展開説明

参加者 13 媒体 17 人



説明会会場



美作大学学生による地域連携の取組の説明

③ メディア説明会（首都圏）

開催日 2024年7月9日（火）

会場 とっとり・おかやま新橋館

内容 長谷川アートディレクターから芸術祭概要や作品展開説明

トークセッション（長谷川アートディレクター、妹島和世氏）

参加者 21 媒体 32 人



長谷川アートディレクター説明



トークセッション

(2) プレスリリース

① 県内向け

県内の新聞、テレビなど 21 媒体に計 59 回リリースを行った。

日付	タイトル
2022/4/15	アートプロジェクト準備委員会設立総会を開催します
2022/10/24	アートプロジェクト実行委員会（仮称）設立総会を開催します
2023/5/19	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会第2回総会を開催します
2023/10/13	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」関連事業を実施します

日付	タイトル
2023/10/25	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 実行委員会第3回総会を開催します
2023/11/1	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 連携事業「FRIENDS PROGRAM」を募集します
2023/11/8	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 トークイベント（奈義会場）を実施します
2023/11/22	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 参加アーティストが視察を行います
2023/12/1	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 公式ポスターを作成しました
2023/12/5	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 サポートスタッフの募集を開始します
2024/2/6	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 トークイベントを実施します
2024/5/16	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 県内メディア・旅行会社向け説明会の御案内
2024/5/21	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 実行委員会第5回総会を開催します
2024/6/7	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 追加参加アーティストや展示会場などを発表
2024/6/28	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 オフィシャルツアー「森の誘惑」の申込受付を開始します
2024/7/8	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 追加参加アーティストや展示会場との組み合わせ等最新情報を発表
2024/8/7	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 プレイメントについて
2024/8/20	レアンドロ・エルリッヒ氏の作品制作にサポートスタッフが参加します
2024/8/21	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 メディアツアーを開催
2024/8/23	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 関連イベント等について
2024/8/29	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 会場運営スタッフの研修会を開催します
2024/8/29	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 PR キャラバン in ハレチカを開催します
2024/8/30	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 プレイメントについて（8月31日中止）
2024/9/3	ジェンチョン・リョウ氏による作品の解説が行われます
2024/9/3	森山未来氏の企画イベント「さんぶたろう祭り」の概要が決定しました
2024/9/4	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 作品制作等の今後の予定について
2024/9/6	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 全参加アーティストと展示会場との組み合わせが決定しました
2024/9/9	マイケル・リン氏作品のサポートスタッフによる制作の様子を公開します
2024/9/11	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 井倉洞会場アンリ・サラ氏の作品鑑賞に予約制を導入します
2024/9/11	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 地域イベント in 新見 「森の芸術祭×神代和紙『みんなでつくり和紙の森』」を開催します
2024/9/13	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 5か所でPR活動を実施します
2024/9/13	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 作品制作等の今後の予定について
2024/9/17	片桐功敦氏による作品制作の様子を公開します
2024/9/18	アシム・ワキフ氏の作品制作にサポートスタッフが参加します

日付	タイトル
2024/9/18	ジャコモ・ザガネッリ氏による作品の解説等が行われます
2024/9/20	リクリット・ティラヴァニ氏プロデュース「ハレノクニ弁当」を販売します
2024/9/25	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開幕式を実施します
2024/9/26	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」参加アーティストが集結！ スペシャルトークイベント「Chat in the Forest」を開催します
2024/9/26	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」公式ガイドブック等を発売します
2024/9/26	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」取材方法について
2024/9/30	学校の子どもたちが「森の芸術祭 晴れの国・岡山」を訪れます
2024/10/3	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」地域イベント in 津山 「森の芸術祭×美作大学社会福祉学科『モリンクフェスティバル』」を開催します
2024/10/3	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」地域イベント in 奈義 「森の芸術祭×美作大学短期大学部幼児教育学科『親子向けイベント』」を開催します
2024/10/3	サンドラ・シント氏の作品のためのワークショップを開催します
2024/10/9	サンドラ・シント氏の作品のためのワークショップ（第2弾）を開催します
2024/10/9	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」×岡山リベッツ ジャコモ・ザガネッリ氏の 作品「津山ピンポン広場」で岡山リベッツの市民交流イベントを実施します
2024/10/15	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」地域イベント in 鏡野 「森の芸術祭×妖精の森ガラス美術館『リユーター体験』」を開催します
2024/10/17	野外演劇ツアー 家を渉る劇「バイオマス・マクベス」等を実施します
2024/10/20	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」屋内ゲートボール場「すばく奈義」の鑑賞中止について
2024/10/31	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」地域イベント in 真庭 「森の芸術祭×NPO法人勝山・町並み委員会『勝山絞り染め体験と勝山町並み保存地区散策』」を開催します
2024/10/31	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」地域イベント in 津山 「森の芸術祭×つやま城下ハイスクール『高校生の感性で切り取った“つやま”の写真展示』」を開催します
2024/10/31	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開幕前半、延べ約19万5千人が来場しました
2024/11/2	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の開催を休止します
2024/11/3	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」井倉洞の鑑賞再開について
2024/11/7	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」「生命の雫 柿ゼリー完成記念・衆楽園で太田散歩」を開催します
2024/11/20	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」閉幕日“お見送り”を実施します
2024/11/29	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」延べ約52万人が来場しました
2024/12/13	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」を振り返り、伊原木知事と長谷川祐子アートディレクターが対談します
2025/1/24	家を渉る劇「バイオマス・マクベス」アフターイベント「循環の輪舞 - 都市と森を紡ぐあらたな共生 -」を開催します

② 全国向け

全国美術系や旅行系など幅広い分野のメディア約 700 媒体に計 6 回リリースを行った。

日付	タイトル
2022/10/31	岡山×国際芸術祭プロジェクトが発足「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開催決定
2023/11/1	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」参加アーティスト／作品展示エリアを発表
2024/6/7	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開催まであと 110 日余り！追加参加アーティストや展示会場などの最新情報を発表
2024/7/8	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」追加参加アーティストと会場組み合わせなどの最新情報を発表
2024/9/13	いよいよ 28 日開幕！全参加アーティストと会場の組み合わせなど最新情報を発表
2024/12/3	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」延べ約 52 万人が来場

(3) メディアツアー

芸術祭の開幕に合わせ、メディアを招聘して作品展示会場を巡るツアーを実施し、参加アーティストや長谷川アートディレクター等が作品の解説を行い、テレビ放送や雑誌、Web サイト等の記事掲載を働きかけた。

開催日 2024 年 9 月 27 日（金）～28 日（土）

参加者 海外メディア 1 媒体、県外メディア 15 媒体、県内メディア 10 媒体 計 32 人



奥津溪での取材



勝山町並み保存地区での取材



昼食（ハレノクニ弁当）

5 視察の受入れ

視察希望のあった行政機関や団体等に対して、現地視察時の作品についての説明や資料等による概要説明を行った。

区分	申込数	対応内訳	
		現地視察	概要説明
行政機関等	11	10	5
その他	8	8	6
合計	19	18	11

6 JR西日本グループの協力による広報

JR岡山駅での集中的な宣伝を実施するとともに、県内外の駅や車内の媒体など、JR西日本グループの協力による広報を実施した。

○ 主な実績

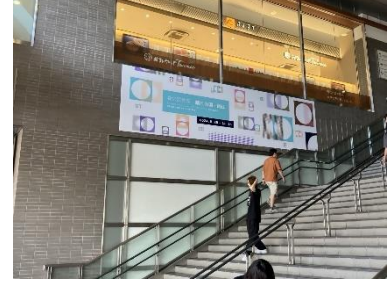
■ 県内 JR 駅



JR岡山駅 (在来線コンコース)



JR岡山駅 (在来線コンコース)

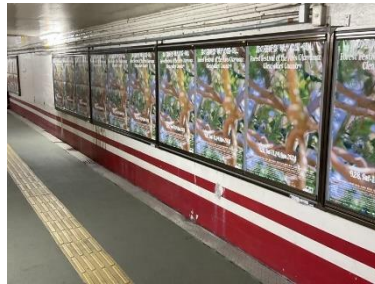


JR岡山駅 (東西連絡通路階段)

■ ポスター



JR岡山駅 (東口懸垂幕)



JR新見駅 (地下通路)



JR名古屋駅

■ パンフレット



JR品川駅

■ デジタルサイネージ



大阪メトロ梅田駅



JR大阪駅

■ 壁面広告



東武池袋駅

■ 車内



JR車内吊り



新幹線テロップ



名鉄・西武車内吊り

Ⅸ 交通

本芸術祭の開催エリアは広域に及ぶため、自家用車等だけでなくバスや鉄道など公共交通でも周遊できる環境を開催エリアの市町村や交通事業者等と連携して整備し、来場者の交通利便性の向上に努めた。

1 オフィシャルツアー「森の誘惑」

(1) 概要

広域な開催エリアにある作品展示会場を効率よく鑑賞できるガイド付きツアーバスを運行した。「ヒストリーコース」と「ネイチャーコース」の2コースで実施し、それぞれ岡山駅発着、津山駅発着の便を設けた。

発着地	コース名	作品展示エリア	参加者数	運行本数
岡山駅発着 【料金】 12,000 円/人	ヒストリーコース	津山城周辺、グリーンヒルズ津山、奈義町現代美術館周辺	428 人	12 便
	ネイチャーコース	奥津、蒜山、満奇洞・井倉洞	517 人	14 便
	小計		945 人	26 便
津山駅発着 【料金】 10,000 円/人	ヒストリーコース	津山城周辺、グリーンヒルズ津山、奈義町現代美術館周辺	70 人	8 便
	ネイチャーコース	奥津、蒜山、満奇洞・井倉洞	140 人	12 便
	小計		210 人	20 便
合計			1,155 人	46 便

※岡山駅発着便が好調でヒストリーコースを1便、ネイチャーコースを2便の計3便増便した。

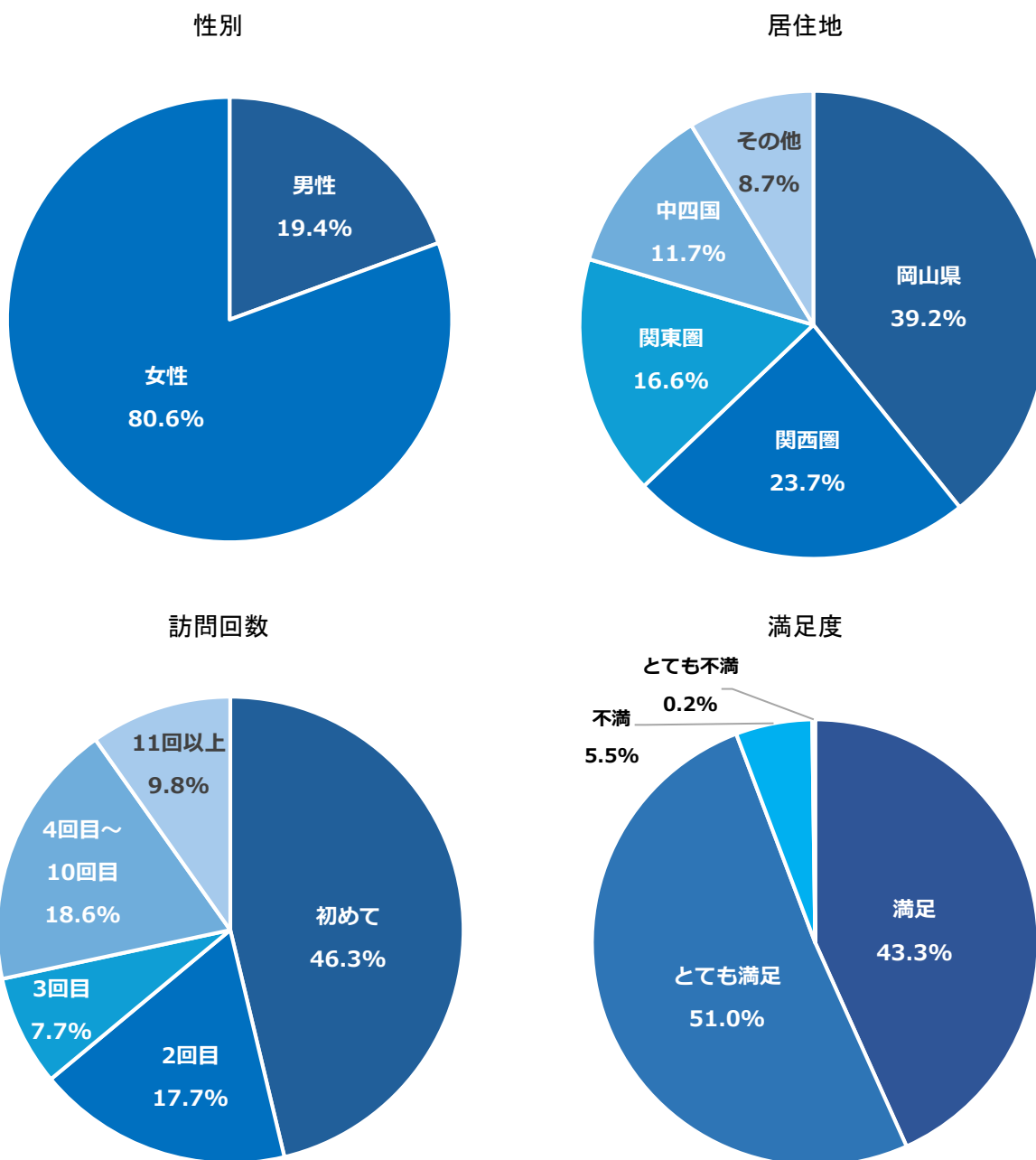


オフィシャルツアー募集チラシ



ツアー風景

(2) ツアー参加者アンケート（回答者 469 人）



【自由記述（主な意見）】

- ・自家用車がなく、公共交通機関では今回のバスツアーのように芸術作品を見ることができなかったため、オフィシャルツアーに参加してよかった。
- ・作品や作家の紹介もバスの中でしてもらい、最後まで丁寧に対応してもらえた。
- ・岡山県北部の知らなかった観光地を知ることができてよかった。
- ・内容はよいが、エリアが広く、移動時間に多くの時間を要し、鑑賞時間が短くなった。

(3) オフィシャルツアーガイド

オフィシャルツアーの案内役として、ツアーガイドを募集・採用し、研修を受けたツアーガイドが、作品が設置された地域やアート作品の案内を行った。

① 募集期間

2024年6月17日(月)～2024年7月16日(火)

② 応募方法

公式 Web サイト

③ 採用人数

13人

④ 研修概要

研修回	開催日	内容
1	2024/8/28	オリエンテーション ・研修の概要、ガイドの役割 ・芸術祭の概要
2	2024/9/2	・ガイドの心得（講師 NPO 法人 瀬戸内こえびネットワーク） ・「表現力」、「コミュニケーション力」を鍛える実践型ワークショップ
3	2024/9/7	現地研修【津山・奈義】 ・作品制作見学、エリア解説
4	2024/9/8	現地研修【新見・真庭・鏡野】 ・作品制作見学、エリア解説
5	2024/9/14	・車内案内用ボード及び案内用原稿の作成
6	2024/9/21	バス乗車実践研修【津山・奈義】 ・動線確認、ガイド演習
7	2024/9/22	バス乗車実践研修【新見・真庭・鏡野】 ・動線確認、ガイド演習



津山まなびの鉄道館での研修



満奇洞での研修

2 Art 周遊バス

(1) 概要

公共交通が不足しているエリア間（津山駅から鏡野／奥津エリア、真庭／蒜山エリア、新見／満奇洞・井倉洞エリア）を繋ぐため、既存の公共交通との組合せも可能な周遊バスを会期中運行した。※月曜日（祝日の場合は翌日）除く。

(2) 料金

1 乗車 500 円（小学生以下・障がい者等無料）

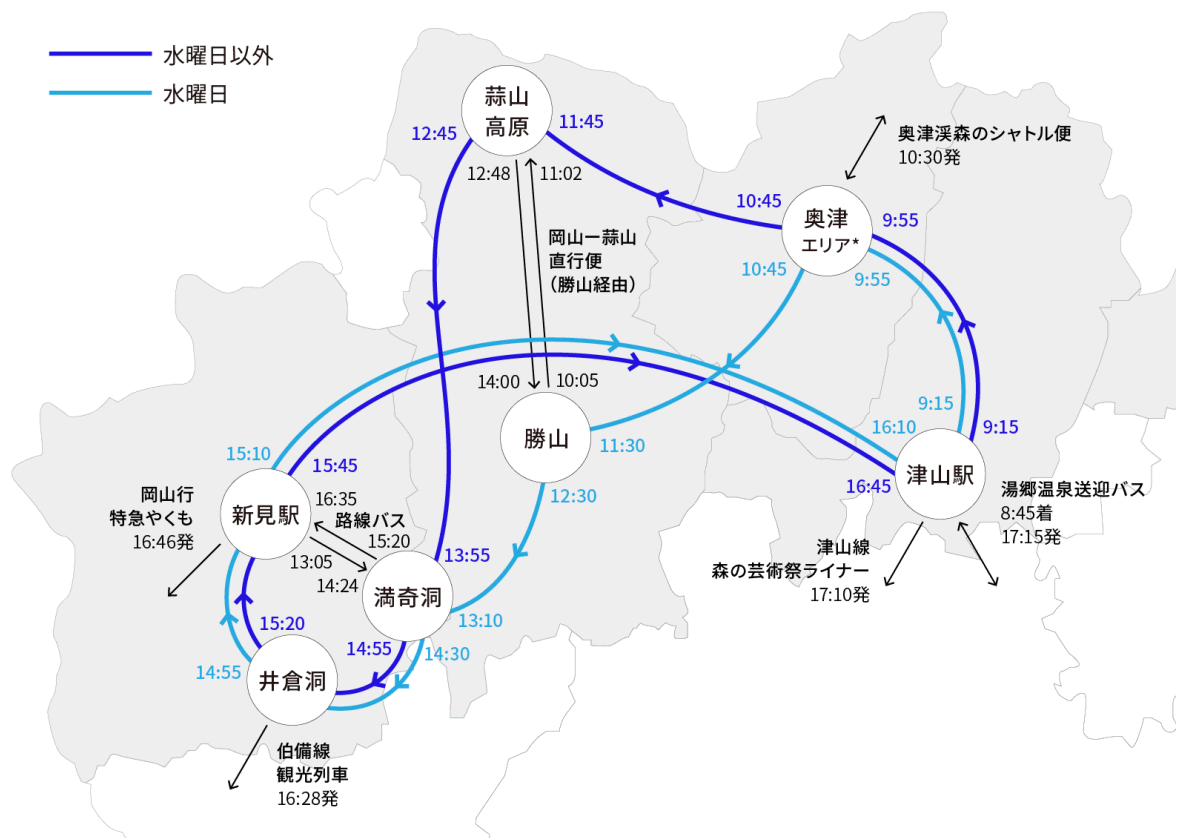
(3) 運行ダイヤ

① 通常ダイヤ

	津山駅	奥津振興センター	奥津溪	奥津温泉	蒜山高原	満奇洞	井倉洞	新見駅	津山駅
到着時刻	-	9:55	10:20	10:45	11:45	13:55	15:20	15:45	16:45
出発時刻	9:15	10:10	10:40	10:45	12:45	14:55	15:20	15:45	-

② 水曜日ダイヤ（GREENable HIRUZEN 休館日に運行）

	津山駅	奥津振興センター	奥津溪	奥津温泉	勝山	満奇洞	井倉洞	新見駅	津山駅
到着時刻	-	9:55	10:20	10:45	11:30	13:10	14:55	15:10	16:10
出発時刻	9:15	10:10	10:40	10:45	12:30	14:30	14:55	15:10	-



(4) 運行実績

- ① 運行便数 49 便（悪天候により 1 便運行中止）
- ② 利用者数 延べ 3,672 人（区間ごとの乗車人数を集計）



3 会場行バス

(1) 概要

市町村等により、作品展示会場や観光地へのアクセスを確保するため、バスを運行した。

(2) 運行一覧

市町村	バス名	運行日	料金	運行ルート
津山市	津山市内アート循環バス	毎日 ※運休日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)	無料	津山城周辺エリア、グリーンヒルズ津山エリアの作品展示会場を順に運行
美作市	湯郷温泉送迎バス	同上	片道 200 円	JR 津山駅から湯郷温泉間を運行
奈義町	奈義⇄岡山森芸シャトルバス	同上	片道 1,800 円 往復 3,300 円	JR 岡山駅からナギテラス間を運行（湯郷温泉経由）
	津山駅 ⇄ ナギテラス	土日祝日	片道 830 円	JR 津山駅からナギテラスへ運行
鏡野町	奥津溪森のシャトル便	毎日	1 日フリー乗車 1,000 円	奥津振興センター、奥津溪、奥津温泉などを順に運行
真庭市	岡山—蒜山直行便（勝山経由）	土日祝日	片道 3,000 円 往復 4,000 円	JR 岡山駅から蒜山高原間を運行（中国勝山駅経由）
新見市	満奇洞・井倉洞シャトルバス	土日祝日	無料	満奇洞・井倉洞エリアの作品展示会場を順に運行

4 レンタカー

市町村	実施主体	助成内容
新見市	新見市観光協会	新見市内の有料展示会場（満奇洞・井倉洞）の来場者を対象に、レンタカー1台につき 2,000 円を助成
真庭市	真庭観光局	真庭地域への宿泊者を対象に、レンタカー1台につき 3,000 円を助成

5 タクシー

市町村	実施主体	助成内容
新見市	新見市観光協会	新見市内の観光・食事・宿泊などにタクシーを利用した場合、1/2を助成
真庭市	真庭観光局	高速バスやJRまたは飛行機を利用する宿泊者で、指定の観光施設等を1か所以上利用する方を対象に、4人乗りタクシーが1時間1,000円で利用できるよう助成

6 レンタサイクル

市町村	項目	概要
津山市	種別	普通自転車、電動アシスト自転車、津山シェアサイクル「ごんちゃり」
	総配置台数	81台
	貸出場所	津山観光センター、津山駅観光案内所、城東観光案内所（和蘭堂）、津山駅、津山洋学資料館、作州民芸館、アルネ津山北側駐輪場、衆楽園、美作大学西門、市役所北西、東津山駅前
奈義町	種別	普通自転車、電動アシスト自転車、タンデム自転車、電動バイク
	総配置台数	9台
	貸出場所	ナギテラス（奈義町観光案内所）
鏡野町	種別	電動アシストマウンテンバイク
	総配置台数	7台
	貸出場所	鏡野観光局（奥津振興センター）
真庭市	種別	クロスバイク、電動アシストマウンテンバイク、電動アシストクロスバイク、マウンテンバイク、キッズマウンテンバイク
	総配置台数	39台
	貸出場所	GREENable HIRUZEN
新見市	種別	普通自転車、電動自転車
	総配置台数	5台
	貸出場所	新見観光案内所

7 鉄道

(1) 概要

JR西日本の協力により、津山線や姫新線、伯備線において臨時列車の運転や増結に加え、地域の魅力を感じていただく観光列車を運行した。

(2) 臨時列車・増結列車一覧

線区	運転区間	実施事項	実施日	記事
津山線	岡山駅～津山駅	直通快速 森の芸術祭ライナー運行	平日1日1往復 土日祝日1日2往復	
		観光列車「SAKU美SAKU楽」運行	土日祝日1日1往復	
		快速 ことぶき 増結	毎日1往復	通常2両→3両

線区	運転区間	実施事項	実施日	記事
姫新線	津山駅～ 新見駅	快速 ハレのモリ 運行	土日祝日 1日1往復	新型電気式気動車 (DEC700) 使用
伯備線	岡山駅～ 新見駅	観光列車 「〇〇のはなし～岡山編～」 運行	9/28(土)～10/27(日) 土日祝日 1日1往復	高梁市及び新見市 の名産品展示や 車内イベント実施
		観光列車「ラ・マル やまなみ」 運行	11/2(土)～11/24(日) 土日祝日 1日1往復	



直通快速 森の芸術祭ライナー



快速 ハレのモリ



観光列車 SAKU 美 SAKU 楽



観光列車 〇〇のはなし～岡山編～



観光列車 ラ・マル やまなみ

X 観光

実行委員会に観光振興の取り組みを検討する観光部会を設置し、市町村と連携して作品を核とした県北部の周遊・滞在型の観光を促進するとともに、県全体への誘客に繋がる取り組みを実施した。

1 観光部会

(1) 概要

実行委員会に、芸術祭を核とした観光振興の取り組みについて協議・検討を行う関係者の情報共有、意見交換の場として設置した。

(2) 構成

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会事務局、開催エリア 12 市町村担当課、県産業労働部観光課、備中県民局地域づくり推進課、美作県民局地域づくり推進課、(公社)岡山県観光連盟、西日本旅客鉄道(株)岡山支社

(3) 開催実績

2023 年度 4/24、9/15

2024 年度 4/16、8/8、9/19、11/8、1/21 計 7 回

2 周遊モデルコース

(1) 公式 Web サイト提案コース

来場者のニーズや交通手段に合わせて芸術祭を楽しんでもらえるよう、来場者にわかりやすい周遊モデルコースを自動車利用で 5 コース、公共交通機関利用で 5 コース、合計 10 コース作成し、公式 Web サイトで提案した。(閲覧数 26,304 回)

交通手段	種別	コース名
自動車利用	1泊2日	アート堪能コース (すべての作品を鑑賞して楽しむコース)
		ゆったりコース (西エリア、作品を中心に景勝地や町並みを巡りながら観光も楽しむコース)
		ゆったりコース (東エリア、作品を中心に景勝地や町並みを巡りながら観光も楽しむコース)
		レジャー体験型モデルコース (作品鑑賞と県北部のレジャーを楽しむコース)
	日帰り	子どもと楽しむよくばりプラン (作品鑑賞と子ども向けイベント等を組み合わせたコース)
小計		5 コース
公共交通機関利用	1泊2日	オフィシャルツアー「森の誘惑」を組み合わせたコース
		全エリア制覇コース
		津山+西エリアを巡る奥津温泉宿泊コース

交通手段	種別	コース名
機 公 関 共 利 交 用 通	日帰り	東エリアコース（津山市、奈義町、8 作品を巡るコース）
		西エリアコース（新見市、真庭市、3 作品を巡るコース）
小計		5 コース
合計		10 コース

（２）岡山県観光連盟提案コース

岡山県観光連盟が芸術祭開催エリアのモデルコースとして 6 コースを作成し、観光連盟公式 Web サイトで提案した。（閲覧数 26,299 回、芸術祭公式 Web サイトと相互に連携）

交通手段	種別	コース名
自 動 車 利 用	1 泊 2 日	ブランド牛に天然温泉、くだもの狩りまで楽しむ新見 1 泊 2 日コース
		歴史を感じる津山の町並みと自然に抱かれた鏡野を巡る 1 泊 2 日コース
		鏡野のアートと秋の美景を巡る 1 泊 2 日コース
	日帰り	津山・奈義エリアを全て巡る！ぎゅっと詰め込み日帰りコース
		新見・真庭・鏡野エリアを全て巡る！自然満載の日帰りコース
		自然と溶け合うアートを堪能する奈義町日帰りコース
合計		6 コース

3 旅行商品造成の働きかけ

東京・大阪において、旅行会社向けの県主催観光プレゼンテーションに参加し、芸術祭の誘客を図るため、旅行商品の造成を働きかけた。

（１）晴れの国おかやま観光プレゼンテーション 2023（大阪）

開催日 2024 年 2 月 8 日（木）

会 場 ANA クラウンプラザホテル大阪（大阪市北区堂島浜）

内 容 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」芸術祭 PR

県観光連盟による観光素材 PR

交流会、市町村 PR ステージ、物産 PR 等

参加者 旅行会社、メディア等 約 100 人

（２）晴れの国おかやま観光プレゼンテーション 2024（東京）

開催日 2024 年 7 月 17 日（水）

会 場 第 1 部 説明会 AP 新橋（東京都港区新橋）

第 2 部 交流会 とっとり・おかやま新橋館（東京都港区新橋）

内 容 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」芸術祭 PR

県観光連盟による観光素材 PR

交流会、市町村 PR ステージ、物産 PR 等

参加者 旅行会社、メディア等 約 60 人

(3) 旅行会社向け説明会（県内）

開催日 2024年6月7日（金） ※メディア説明会（県内）と同時開催
会場 岡山県立図書館
内容 芸術祭概要や参加アーティストによる作品展開説明
参加者 16社26人

4 食への取り組み

(1) アーティストによるプロジェクト

① 生命（いのち）の雫 柿ゼリー

太田三郎氏が、津山市の和菓子メーカー（株）くらや、美作大学調理師会と、柿を使ったゼリーを共同開発した。パッケージに柿の種が同封されており、それを植えることで柿の木を新たに育むことができる仕掛けが施されている。

- ・販売実績 100個
- ・販売価格 1,000円（税込）
- ・販売場所 衆楽園（津山市山北）



② 森のいろどりパフェ

開催エリアの特産品を使用した特製パフェ
美咲町出身のパティシエ鈴鹿成年氏がレシピを監修した。

・販売実績

パルフェ レザン	～ぶどうのうるおい～	（9/28～11/24 販売）	603個
パルフェ ポワール・マロン	～秋の色づき～	（10/30～11/24 販売）	150個
パルフェ フレーズ・ユズ	～いちごの誘惑～	（12/1～12/28 販売）	27個
			計 780個

・販売価格 3,000円（税込）

・販売場所

THE HILLS HOUSE TSUYAMA（津山市）、作東バレンタインホテル（美作市）、
ホテルグランヴィア岡山（岡山市）

※作東バレンタインホテル（美作市）、ホテルグランヴィア岡山（岡山市）は、「パルフェ
レザン ～ぶどうのうるおい～」のみ販売



レザン



ポワール・マロン



フレーズ・ユズ

③ ハレノクニ弁当

リクリット・ティラヴァニ氏のコンセプトを基に、地元食材をふんだんに使い、コラボレーターである津山市のbistro CACASHIのシェフ平山智幹氏と津山市の(株)マルイが共同で開発した。

- ・メニュー なぎビーフ牛井と黄ニラ
鶏のラケ(洋風照り焼き)、ソース・ジャポネ
赤玉葱のピクルス
赤ワイン風味の蓮根のきんぴら
季節の果物、作州黒豆大福

- ・販売実績 1,814個
- ・販売価格 1,650円(税込)
- ・販売場所 衆楽園 迎賓館(津山市山北)



「ハレノクニ弁当」/森の芸術祭 岡山
/撮影：河野義彦 写真提供：JR西日本

④ 食の誘惑(岡山県北部の飲食店マップ)

リクリット・ティラヴァニ氏と平山智幹氏が選んだ県北部の飲食店のマップを作成し、会期中、各会場やインフォメーションセンターで配布した。

- ・掲載店数 39店
津山市(22店)、新見市(1店)、真庭市(6店)、美作市(3店)、新庄村(1店)
鏡野町(1店)、奈義町(3店)、美咲町(2店)
- ・配布数 約5,500部

(2)「森の芸術祭 晴れの国・岡山」特製パン

来場者が気軽に食べることができる特製パンを開発、販売した。

- ・販売実績
森パン(抹茶ベースのメロンパン生地、こしあん入り) 960個
桃パン(白桃をイメージしたパン生地、桃クリーム入り) 880個
計 1,840個

- ・販売価格 195円(税込)
- ・販売場所 城西浪漫館(中島病院旧本館)、作州民芸館、
マルイ2店舗
- ・開発製造 フジタパン(津山市)



(3) 県北グルメ手帖

(株)山陽新聞社が協力、岡山放送(株)が発行した県北グルメ手帖をインフォメーションセンター、JR岡山駅などで来場者に無料配布した。

- ・タイトル 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開催記念 県北グルメ手帖
- ・内容 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」を記念し発行されたグルメ本。津山、奈義、鏡野、真庭、新見の5エリアの飲食店59店舗掲載(割引クーポン付き)
- ・発行日 2024年9月28日
- ・利用期間 2024年9月28日~11月24日
- ・配布数 25,000部 ※無料配布
- ・配布場所 インフォメーションセンター、JR岡山駅、JR津山駅、JR新見駅、日本旅行岡山支店、マルイ県内12店舗 他

5 連携事業

(1) 特別連携企画

招聘アーティストや長谷川アートディレクターが関わるイベント、芸術祭と関わりが深いイベントなどを特別連携企画として位置付け、情報発信を行った。

NO	事業名	期間	主催	概要
1	People, Art and Territory —人々、アートそして地域—	2023/10/8～29	PORT ART&DESIGN TSUYAMA	PORT ART&DESIGN TSUYAMAにおいて、参加アーティストのジャコモ・ザガネリ氏がレジデンス・プログラムを実施
2	太田三郎：OTA Saburo 1994- 2024	2024/4/13～6/16	奈義町現代美術館	奈義町現代美術館において、参加アーティストの太田三郎氏が植物を素材にした作品のみで会場を構成した特別展を実施
3	令和6年度 美作大学公開講座「森の芸術祭に見出そうSDGs」	2024/8/10	美作大学・美作大学短期大学部	美作大学において、長谷川アートディレクターが講演並びにトークセッションを実施
4	本を旅する・切手の葉	2024/9/28～ プレゼント用葉が 終了するまで	津山圏域定住自立圏図書館	県北1市5町の図書館において、参加アーティストの太田三郎氏制作の葉を用いたイベントを実施
5	m t project 津山	2024/9/27～11/4	カモ井加工紙株式会社 晴れの国おかやま観光キャンペーン推進協議会	JR津山駅及びアルネ津山において、マスキングテープによる装飾と関連イベントを実施
6	奈義町子育てアート映像	2024/9/28～11/24	奈義町	ナギテラスにおいて、奈義町の長年にわたる子育て支援策や地域社会におけるユニークな取り組みを長谷川アートディレクターが監修し、映像作家の宮尾昇陽氏が制作したドキュメンタリー映像を放映
7	妹島+うねもりの駅プロジェクト	2024/9/28～11/24	真庭市	JR久世駅と中国勝山駅において、参加アーティストの妹島和世氏と真庭市出身の建築家畝森泰行氏の作品を設置
8	山極壽一氏特別講演会 森と人間の未来～芸術が照らす持続可能な環境～	2024/10/13	真庭市	霊長類学者でゴリラ研究の第一人者の総合地球環境学研究所所長山極壽一氏による講演会を真庭市で開催
9	トークイベント 坂本龍一と磯崎新を巡って	2024/11/21	奈義町	奈義町立図書館において、参加アーティストの高谷史郎氏と批評家の浅田彰氏によるトークイベントを開催
10	環境と建築 ～アートが地域にもたらすもの～	2025/3/20	真庭市	勝山文化センターにおいて、芸術祭参加アーティストの真庭大使も務める建築家の妹島和世氏が地域の未来を照らし出す「アート」について語るトークイベントを開催

(2) PICK UP PROGRAM

会期中に開催エリア内で実施されるイベントのうち、市町村が特に推奨したい取り組みを「PICK UP PROGRAM」として位置付けるとともに情報発信を行い、芸術祭とともに盛り上げを図った。

① 対象事業

- ・開催エリア 12 市町村内で実施される事業
- ・アートイベントや美術館の企画展など芸術祭のコンセプトに沿った事業
- ・芸術祭への誘客に繋がる事業や地域の魅力発信に繋がる事業
- ・会期中に開催される事業

※市町村からの推薦が必要

② 連携の内容

- ・「PICK UP PROGRAM」ロゴを使用し、SNS やチラシ等へ露出（事業者）
- ・チラシや公式 Web サイトなどによる事業の周知（事務局）

③ 募集期間

2024 年 3 月 1 日～4 月 30 日

④ 参加事業数 45 事業

※71～72 ページに一覧表を掲載

(3) FRIENDS PROGRAM

相互に連携することで相乗効果が期待できる開催エリア内のイベント等を広く募集し、「FRIENDS PROGRAM」として位置付けて芸術祭とともに盛り上げを図った。

① 対象事業

- ・開催エリア 12 市町村内で実施される事業
- ・文化芸術、地域・観光振興に関する事業
- ・2024 年 7 月 1 日～11 月 24 日に開催される事業

② 連携の内容

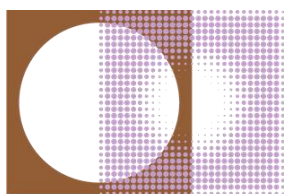
- ・「FRIENDS PROGRAM」ロゴを使用し、SNS やチラシ等へ露出（事業者）
- ・公式 Web サイトなどによる事業の周知（事務局）

③ 募集期間

・2023 年 11 月 1 日～2024 年 8 月 31 日

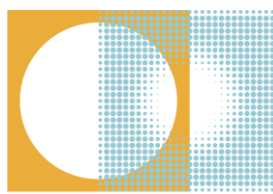
④ 参加事業数 113 事業

※73～75 ページに一覧表を掲載



森の芸術祭
PICK UP
PROGRAM

PICK UP PROGRAM 専用ロゴ



森の芸術祭
FRIENDS
PROGRAM

FRIENDS PROGRAM 専用ロゴ

(4) 鑑賞パスポート特典

芸術祭をきっかけに岡山県の各地を来場者に周遊していただき、県全体の活性化を図るため、参加施設を募集し、割引・プレゼントなどの特典を提供いただいた。なお、募集及び特集ページは岡山県観光連盟が作成した。

① 特典の提供方法

施設の受付で「森の芸術祭 晴れの国・岡山」鑑賞パスポートを提示することで、割引・プレゼントなどの特典を提供する。

② 参加施設

53 施設

お土産店・飲食店 (20 施設)、美術館・博物館 (8 施設)、スポット (6 施設)、
宿泊施設 (8 施設)、その他 (11 施設)

※76 ページに一覧表を掲載

(5) 「おかやまハレいろキャンペーン 2024」等との連携

芸術祭の開催を契機とした周遊・滞在を促進するため、「おかやまハレいろキャンペーン 2024」など、県観光課や岡山県観光連盟の実施する様々な取り組みとの連携を図った。

① 森の芸術祭をメインコンテンツとした広報制作物

媒体	規格・部数	芸術祭との連携内容	掲出・配布場所
ガイドブック	A4 版 全 16 ページ 160,000 部	特集記事の掲載 (4 ページ)	JR 西日本管内主要駅、観光案内所、サービスエリア、イベント会場、旅行会社等
ポスター	B1 判 100 枚	メインビジュアルに 展示会場を採用	JR 西日本岡山支社管内主要駅、イベント会場等



ガイドブック表紙・ポスター



ガイドブック特集記事

② 旅行商品の造成促進

1 泊当たり県内食事施設を 1 カ所以上、または有料観光施設を 2 カ所以上利用するバスツアーに対し、1 人泊当たり 1,000 円を助成した。また、森の芸術祭のパスポートを組み込んだ場合は 500 円/泊を加算した。

- ・パスポート付きツアー 申請件数 8 件、延べ泊数 288 人
- ・単館鑑賞券 申請件数 11 件、延べ泊数 616 人

③ レンタカー割引

芸術祭開催エリアでの宿泊者は 1 暦日 1,700 円で利用できるレンタカープランを設定した。

- ・対象店舗 岡山県内の駅レンタカー営業所

(JR 岡山駅、JR 倉敷駅、JR 新倉敷駅、JR 津山駅、JR 新見駅、JR 児島駅)

④ mt project との連携

カモ井加工紙（株）（倉敷市）のマスキングテープ『mt』により観光施設等を装飾した大型イベントと連携を図った。

- ・ JR 津山駅ロータリーに mt project と森の芸術祭のロゴをデザインしたフラッグを掲出した。
- ・ mt project スタンプラリー開催スポットに津山市内の展示会場を加え相乗効果を図った。



フラッグ（表面は mt project） スタンプラリー リーフレット

⑤ 森の芸術祭を契機とした事業・企画等の継続・発展を目的とした助成事業

- ・ 対象事業 イベント・体験・旅行商品等の実施
二次交通の整備

・ 助成件数 19 件

⑥ 顔認証スタンプラリーキャンペーンとの連携

森の芸術祭と県内周遊に向けた観光誘致を図り、新たな旅・体験を提供することを目的とし、顔認証技術を活用したスタンプラリーキャンペーンを実施した。

⑦ 特集ページの掲載

観光連盟の公式 Web サイトに特集ページ「森の芸術祭&岡山の旅」を掲載した。

- ・ 公開期間 7/23~11/30
- ・ Web サイト閲覧回数 81,882、44,992 ユーザー

⑧ その他広報

観光連盟の公式 SNS で、芸術祭の写真や動画素材を使用した SNS 広告を出稿するなどの広報活動を実施した。



特集ページ「森の芸術祭&岡山の旅」



公式 SNS

XI 地域連携・学校連携

多様な主体と連携し、地域の特色を生かした様々な取り組みを行うとともに、学校と連携した鑑賞プログラムを実施した。

1 作品制作関係

アート作品の制作等に地域住民や地元大学生など、延べ 235 人が参加した。

(単位:人)

アーティスト名	活動内容	活動日	延べ人数
レアンドロ・エルリッヒ	地域住民や地元大学生によるフェイクツリー組立及びスプレーでの色付け(8月)、ウッドチップを鉢植えに移す作業(9月)	2024/8/22~8/25	115
		2024/9/24、25	16
アシム・ワキフ	岡山県立大学生や地域住民による竹の運搬	2024/9/12、13	12
	岡山県立大学生による竹の組上げ作業等	2024/9/20~9/26	16
マイケル・リン	倉敷芸術科学大学生や地域住民によるペイント作業	2024/9/4~9/15	53
片桐功敦	地域住民による麦の仕分け作業	2024/9/23~9/25	23

2 地域イベント

地域づくりに関わる団体等と協働し、地域の特色を生かした地域イベントを実施した。

市町村	イベント名	開催日	開催場所
津山市	森の芸術祭×美作大学社会福祉学科「モリクフェスティバル」	2024/10/27	アルネ・津山
津山市	森の芸術祭×つやま城下ハイスクール「高校生の感性で切り取った“つやま”の写真展示」	2024/11/16	森本慶三記念館 (旧津山基督教図書館)
奈義町	森の芸術祭×美作大学短期大学部幼児教育学科「親子向けイベント」	2024/10/19	奈義町文化センター内伝統文化等研修施設等
鏡野町	森の芸術祭×妖精の森ガラス美術館「リユーター体験」	2024/11/9	にこのもり (旧奥津商工会館)
真庭市	森の芸術祭×NPO 法人勝山・町並み委員会「勝山絞り染め体験と勝山町並み保存地区散策」	2024/11/14	勝山町並み保存地区、ひのき草木染織工房
新見市	森の芸術祭×神代和紙保存会「みんなでつくろう和紙の森」	2024/9/14	新見市憩いとふれあいの公園



奈義町「親子向けイベント」



鏡野町「リユーター体験」



新見市「みんなでつくろう和紙の森」

3 鑑賞プログラム

(1) 教育プログラム

学校と連携し、子どもたちに教育活動の一環として芸術祭に来場いただき、アート作品に触れる機会を提供するとともに、案内を行う人材「森の案内人」を地元から募り、対話型鑑賞の手法を取り入れた鑑賞支援を行った。

また、学校の参加を促進することを目的とし、バス代の一部助成（1台当たり5万円を上限）を行った。

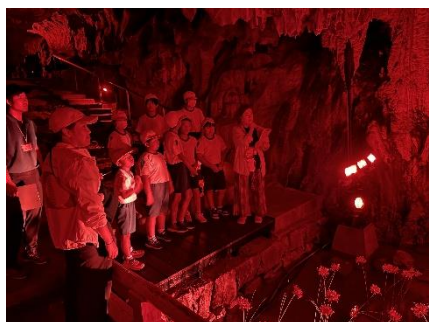
- ・教育プログラム参加校（38校、延べ71会場、2,375人）

（単位：人）

学校名	会場	訪問人数
津山市立喬松小学校	奈義町現代美術館	27
	すば一く奈義	27
津山市立北小学校	津山まなびの鉄道館	42
津山市立中正小学校	奈義町現代美術館	47
	すば一く奈義	47
津山市立東小学校	城東むかし町家	46
高梁市立中井小学校	満奇洞	18
	ふれあいセンター満奇	18
高梁市立富家小学校	満奇洞	30
	ふれあいセンター満奇	30
高梁市立有漢東小学校	新見図書館	34
新見市立神郷北小学校	満奇洞	24
	ふれあいセンター満奇	24
新見市立草間台小学校	GREENable HIRUZEN	27
新見市立塩城小学校	満奇洞	22
	ふれあいセンター満奇	22
新見市立千屋小学校	満奇洞	13
	ふれあいセンター満奇	13
新見市立神代小学校	GREENable HIRUZEN	19
新見市立本郷小学校	奈義町現代美術館	95
	すば一く奈義	95
新見市立西方小学校	GREENable HIRUZEN	39
新見市立本郷小学校	満奇洞	92
	ふれあいセンター満奇	92
新見市立野馳小学校	満奇洞	33
	ふれあいセンター満奇	33
真庭市立中和小学校	作州民芸館	18
真庭市立中和小学校	グリーンヒルズ津山	21
真庭市立木山小学校	津山まなびの鉄道館	33
真庭市立河内小学校	GREENable HIRUZEN	19
真庭市立月田小学校	奈義町現代美術館	41
	すば一く奈義	41
真庭市立落合小学校	GREENable HIRUZEN	57
真庭市立落合小学校	津山まなびの鉄道館	60
真庭市立湯原小学校	GREENable HIRUZEN	37
真庭市立北房小学校	満奇洞	42
	ふれあいセンター満奇	42

学校名	会場	訪問人数	
真庭市立川上小学校	GREENable HIRUZEN	50	
真庭市立蒜山中学校	GREENable HIRUZEN	26	
真庭市立蒜山中学校	GREENable HIRUZEN	38	
真庭市立八束小学校	GREENable HIRUZEN	22	
真庭市立久世中学校	奥津溪	9	
	奥津振興センター	9	
美作市立大原小学校	奈義町現代美術館	49	
	すば一く奈義	49	
美作市立大原小学校	津山まなびの鉄道館	40	
鏡野町立鶴喜小学校	津山まなびの鉄道館	35	
鏡野町立鶴喜小学校	GREENable HIRUZEN	31	
鏡野町立鶴喜小学校	奈義町現代美術館	19	
	すば一く奈義	19	
鏡野町立奥津小学校	奥津溪	56	
	奥津振興センター	56	
勝央町立勝央北小学校	奈義町現代美術館	36	
	すば一く奈義	36	
勝央町立勝央北小学校	津山まなびの鉄道館	31	
奈義町立奈義小学校	津山まなびの鉄道館	40	
西粟倉村立西粟倉小学校	津山まなびの鉄道館	26	
久米南町立神目小学校	GREENable HIRUZEN	27	
久米南町立神目小学校	津山まなびの鉄道館	19	
久米南町立誕生寺小学校	グリーンヒルズ津山	18	
久米南町立誕生寺小学校	満奇洞	22	
	ふれあいセンター満奇	22	
県立芳泉高等学校	奈義町現代美術館	15	
	すば一く奈義	15	
県立真庭高等学校	GREENable HIRUZEN	27	
県立津山工業高等学校	衆楽園	20	
県立津山工業高等学校	衆楽園	15	
県立津山工業高等学校	衆楽園	17	
県立岡山城東高等学校	満奇洞	22	
	ふれあいセンター満奇	22	
県立津山工業高等学校	衆楽園	17	
学校数 38		延べ会場数 71	2,375

- ・「森の案内人」登録者数 18人（専門人材 11人、ボランティア 7人）
- ・バス助成利用 延べ 34校



(2) 一般鑑賞プログラム

① 一般向け鑑賞会

現代アートの良さをより多くの人に知ってもらうため、市町村等と連携し、一般来場者が参加するツアー等において、森の案内人による対話型鑑賞の手法を取り入れた鑑賞サポートを行った。また、森の案内人と協働で「鑑賞シート」を作成し、実地での案内に活用するとともに、インフォメーションセンターに設置した。



鑑賞シート（満奇洞）



ガイドの様子（満奇洞）

② 大学連携による鑑賞サポート

倉敷芸術科学大学と連携し、学生が研修プログラムとして対話型鑑賞の手法を学び、実習として、まなびの森 新見図書館において来場者への鑑賞サポートを行うとともに、SNSを活用した作品紹介や、鑑賞のポイントや制作過程などを盛り込んだ冊子の作成・会場への設置を行った。



X II 企業協力・協賛・助成

1 協賛

本芸術祭の成功に向けて、県内外の幅広い企業等に対し協力・協賛いただくよう呼びかけた。芸術祭の開催趣旨に賛同し協賛いただいた企業等には、特典として広報媒体等への企業等ロゴマーク又は企業等名の掲出等を行った。

- ・スペシャルパートナー 9 団体
- ・パートナー 23 団体
- 計 32 団体

2 助成等

地域振興や文化振興などに対し支援を行っている団体から助成等を受けた。

- ・助成等団体 6 団体

■協賛（32 企業・団体）

<スペシャルパートナー>

院庄林業株式会社、株式会社 SGC、株式会社山陽新聞社、株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ、日本航空株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社日本旅行、株式会社パワーエックス、株式会社マルイ・株式会社mamハートホールディングス

<パートナー>

株式会社 JTB、株式会社ステラグリーン、全日本空輸株式会社、株式会社阪急交通社、クラブツーリズム株式会社、シップヘルスケアホールディングス株式会社、大日化成株式会社、株式会社日本カストディ銀行、日本たばこ産業株式会社、株式会社野村総合研究所、三井物産株式会社、株式会社大本組、成通グループ、株式会社山田養蜂場、株式会社読売旅行、株式会社三備電業社、株式会社宗家源吉兆庵、第一生命保険株式会社、東武トップツアーズ株式会社、株式会社トロンマネージメント、岡山ダイハツ販売株式会社、リコージャパン株式会社岡山支社、ランダス株式会社

■助成等（6 団体）

文化庁、一般財団法人地域創造、イタリア文化会館-大阪、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、公益財団法人 福武教育文化振興財団、公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団

XIII 鑑賞券・グッズ

1 鑑賞券

芸術祭の会期中、芸術祭の全ての作品を鑑賞できる「鑑賞パスポート」を2024年6月7日から閉幕日まで販売した。

アート作品を鑑賞するために必要な鑑賞券として、鑑賞パスポートと単館鑑賞券の2種を販売し、プレイガイドや旅行業者等を通じて国内外に販売網を整備した。なお、鑑賞パスポートは電子券の販売も行った。

(1) 鑑賞券の価格

区分	鑑賞パスポート※1		単館鑑賞券	単館鑑賞券 (施設入場券)
	前売	当日		
一般	2,500円	3,000円	無料施設の場合	有料施設の場合
大学生 専門学生	1,500円	2,000円	700円	施設入場料金
高校生以下 障がい者等	無料		無料	無料

※1 鑑賞パスポートは、会期中を通じて利用可能だが、入場は原則として1会場につき1回のみとし、当日に限り再入場が可能

※2 公共の場所に設置するアート作品の場合、鑑賞券の購入は不要

(2) 鑑賞券の販売実績

区分	鑑賞パスポート		単館鑑賞券	単館鑑賞券 (施設入場券)
	前売	当日		
一般	12,687枚	9,072枚	19,685枚	93,182枚
大学生 専門学生	162枚	414枚		
合計	12,849枚	9,486枚	19,685枚	93,182枚

(3) 鑑賞パスポート販売場所

① WEB (プレイガイド等)

ArtSticker / イープラス / tabiwa by WESTER / チケットぴあ / ローソンチケット

※引換えが必要 (ArtSticker を除く。)

② 店頭販売

岡山市 2か所 / 津山市 11か所 / 新見市 2か所 / 真庭市 13か所 / 美作市 2か所
新庄村 1か所 / 鏡野町 2か所 / 勝央町 2か所 / 奈義町 2か所

※マルイ各店舗、各観光協会、真庭商工会など

※上記に加え、会期中は各有料作品展示会場でも販売

(4) 鑑賞パスポート引換場所

- ・インフォメーションセンター（鏡野町／奥津エリア除く。）
- ・JR岡山駅「岡山市ももたろう観光センター」
- ・岡山桃太郎空港「岡山特産館 桃太郎」
- ・津山観光センター

(5) 鑑賞券イメージ

【鑑賞パスポート】



一般

大学生・専門学生

高校生以下等

【単館鑑賞券】



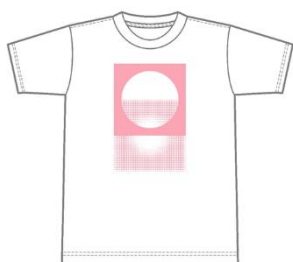
2 公式グッズ

ロゴマークやアーティストの作品がデザインされた公式グッズを制作し、インフォメーションセンター、JR岡山駅、ECサイト等で販売した。

商品種別	販売価格（税込）	販売数
トートバック	3,300 円	131 点
Tシャツ半袖 (S/M/L)	4,400 円	102 点
Tシャツ長袖 (S/M/L)	5,500 円	59 点
マグネット缶バッジ	330 円	296 点
ステッカーセット	770 円	178 点



トートバック



Tシャツ半袖



Tシャツ長袖



マグネット缶バッジ



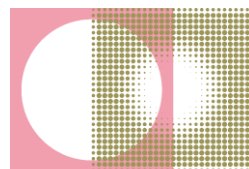
ステッカーセット

3 地産品等

開催エリアお薦めの地産品等を 27 商品選定し、芸術祭の「レコメンド商品」として専用ロゴマークを付与するとともに、道の駅等での販売や公式 Web サイトでの紹介を行った。



レコメンド商品



森の芸術祭
RECOMMEND

専用ロゴマーク

【商品一覧】 販売品数 27 商品

市町村	商品名
津山市	珈琲水羊羹、黒豆ポン、森の芸術祭特製弁当 彩り玉手箱
高梁市	高梁紅茶、吹屋の紅だるま、OKAYAMA SAKAGURA COLORS 大典白菊
新見市	生原酒ひのくち、にんにくオリーブオイル醤油、新見フレッシュキャビア、森の紅茶
真庭市	高瀬舟羊羹、蒜山ショコラ、OKAYAMA SAKAGURA COLORS 大正の鶴、OKAYAMA SAKAGURA COLORS 御前酒、御前酒 馨（けい）
美作市	下山さんちのほうじ茶
新庄村	ひと味、ひめのもち しゃぶしゃぶ餅、森の芸術祭特製弁当 新庄宿 須貝邸弁当
鏡野町	姫とうがらし一味、
勝央町	ほんのり甘く柔らかい作州黒
奈義町	一本の幸せゼリー、一枚の幸せショコラ
西粟倉村	薫湯
久米南町	久米南柚子入りままかり、久米南町 山田錦 山麩純米酒 桃太郎 鬼退治
美咲町	美咲町産 棚田米 レトルトパック

XIV 来場者アンケート

会期中に実施したアンケート調査に基づく来場者の傾向は、次のとおりであった。

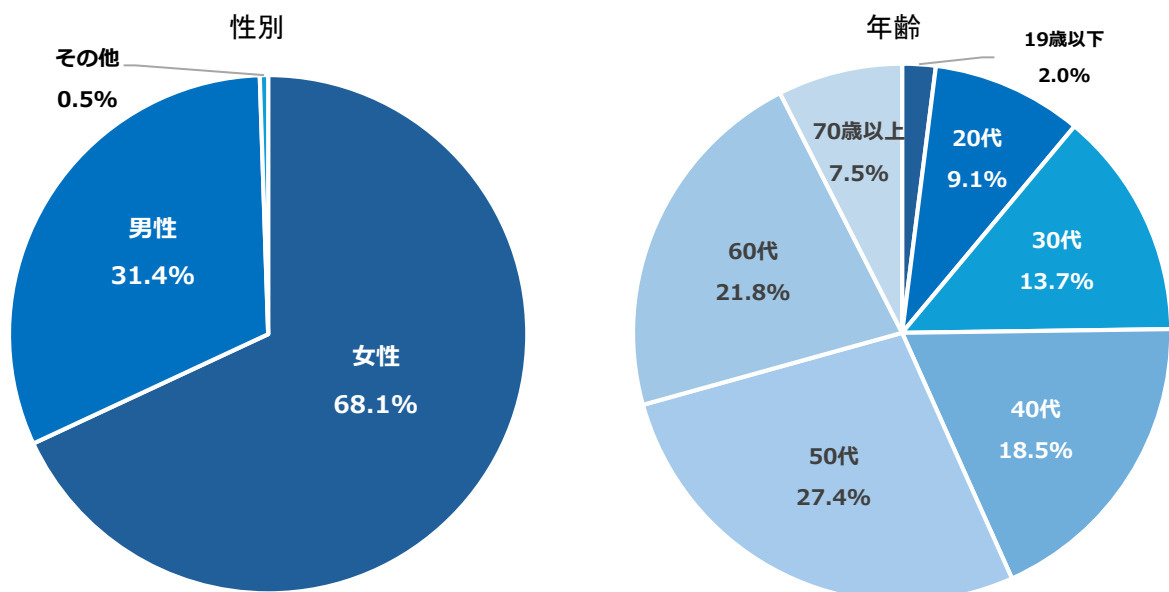
1 実施概要

- (1) 実施方法 作品設置会場や県北部エリアの観光地などに設けたポスター、チラシにある二次元コードを読み込み、サイトからアンケートに回答
- (2) 調査期間 2024年9月28日(土)～11月24日(日)
- (3) 有効回答総数 4,237件

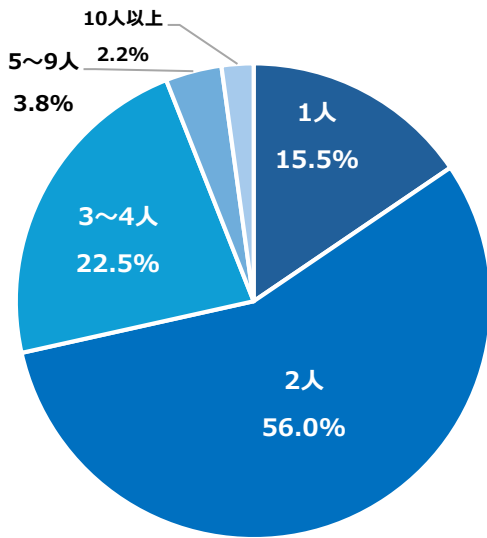
2 アンケート結果

アンケート調査に基づく来場者の傾向は、次のとおりであった。

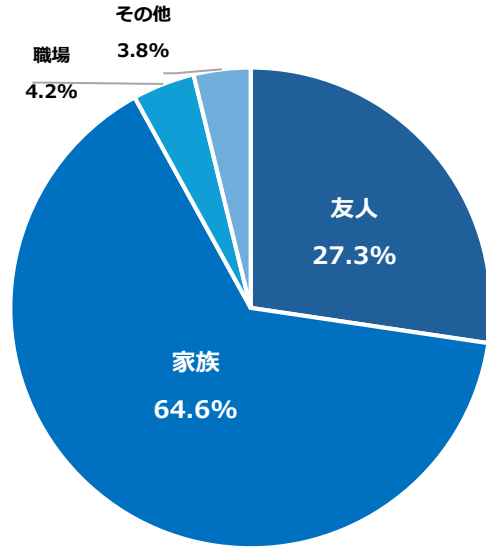
- ・女性が約7割を占め、30～60代の幅広い層の来場があった。
- ・来場人数は、約85%が複数人での来場であり、家族や友人との来場が多かった。
- ・県内からの来場が約半数を占め、次いで関西圏、中四国と近隣県からの来場が多かった。県内では岡山市、倉敷市を中心に開催エリア外からの来場が3分の2を占めた。
- ・海外からの来場者は、アンケートの集計値では0.22%であったが、事務局の現地調査結果を用いて補正を行ったところ1.90%となった。
- ・訪問先の状況は、津山市が最も多く、次いで奈義町、新見市であった。また、約3割の来場者が作品を設置していない開催エリア内の7市町村に立ち寄っている。
- ・県外からの来場者は約7割が宿泊し、県内からの来場者は約9割が日帰りであった。
- ・会場間の移動は、自家用車が最も多く約7割を占め、次いでJR、バスと続いた。
- ・来場のきっかけは、「アートに興味がある」が約6割で最も多かったが、岡山の自然、文化、人、食を楽しみたいという人も多かった。
- ・情報の入手先は、「ポスター・チラシ」が最も多く、次いで「公式Webサイト」が多かった。
- ・芸術祭に対する評価は、「とても良い」「まあ良い」が約9割を占めた。



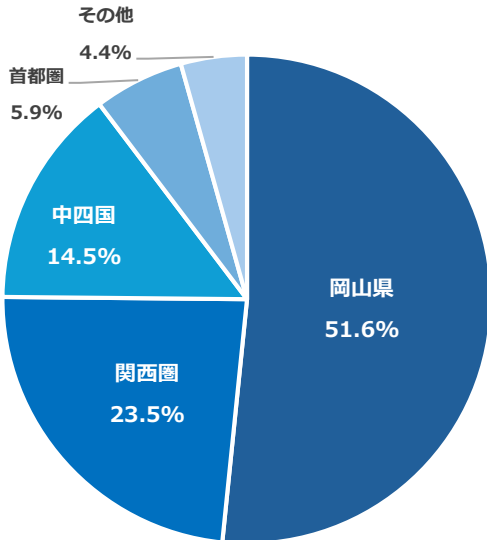
来場人数



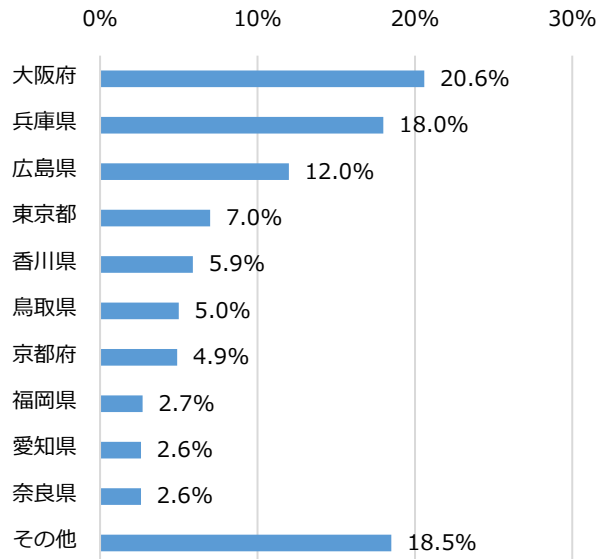
同行者（複数人での来場の場合）



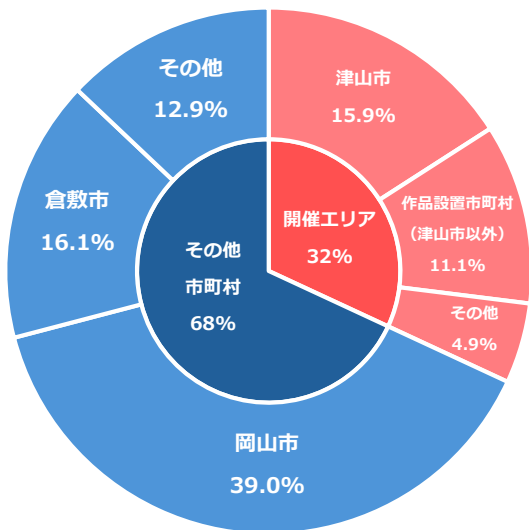
来場者の居住エリア



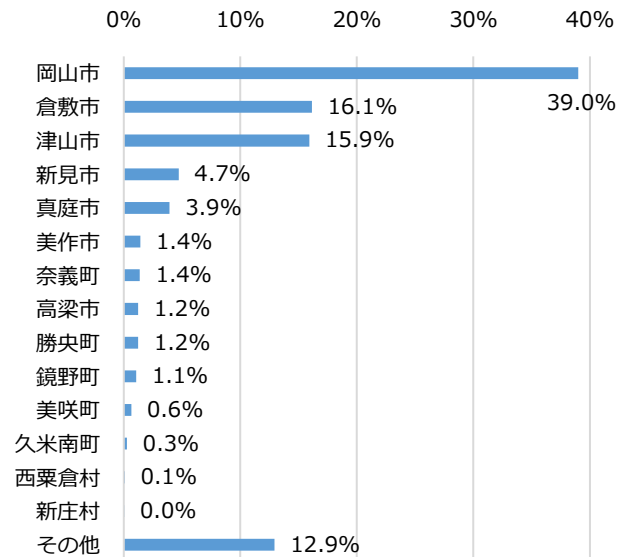
県外来場者の居住地



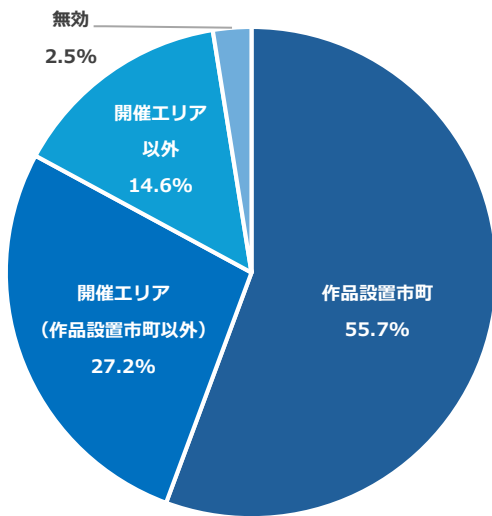
県内来場者の居住地



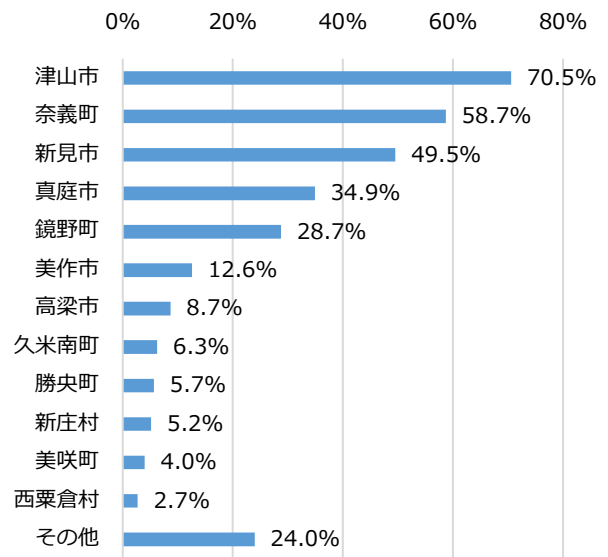
県内来場者の居住地



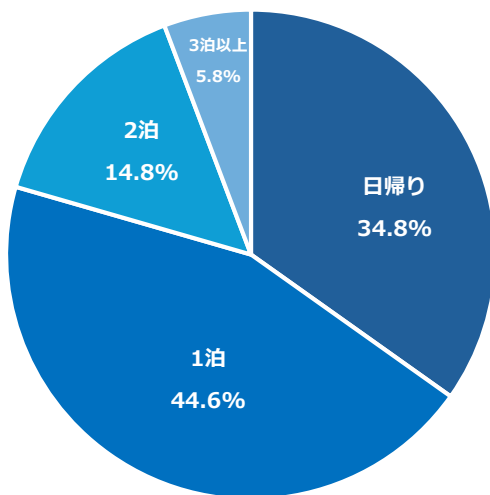
訪問先（複数回答可）



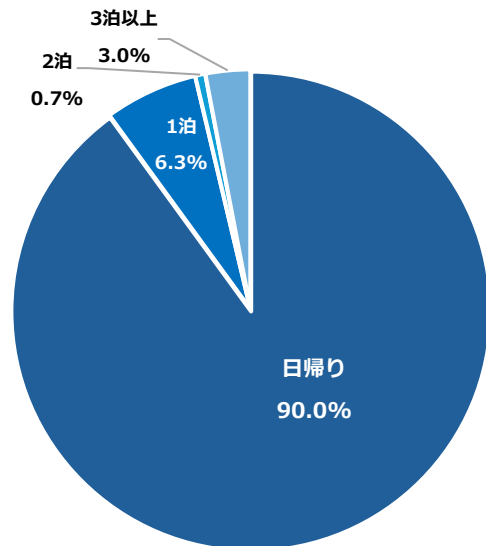
市町村別訪問先



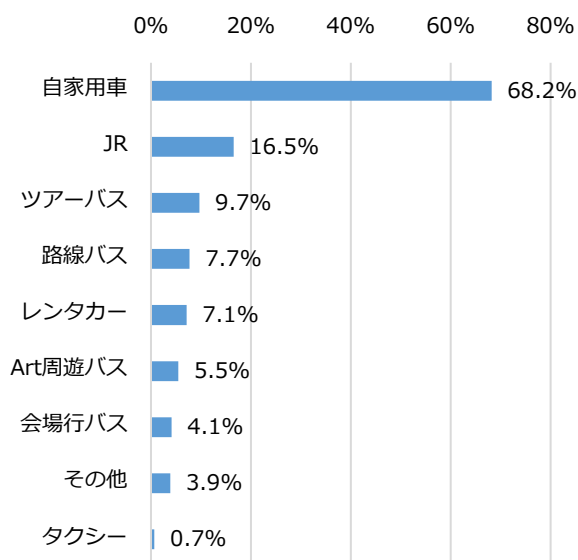
県外来場者の滞在日数



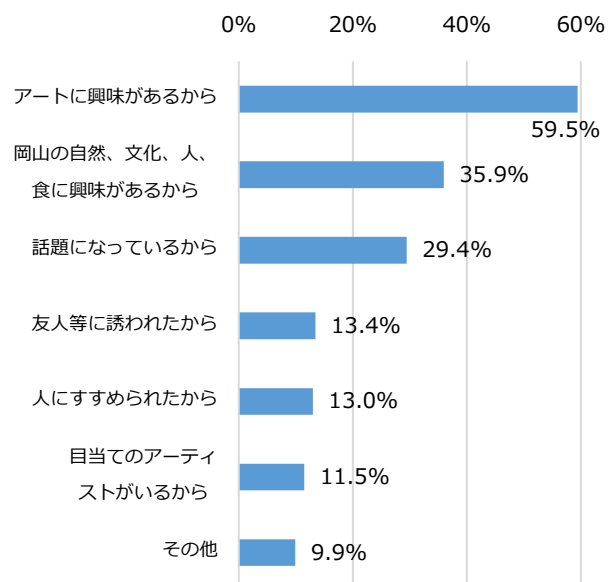
県内来場者の滞在日数

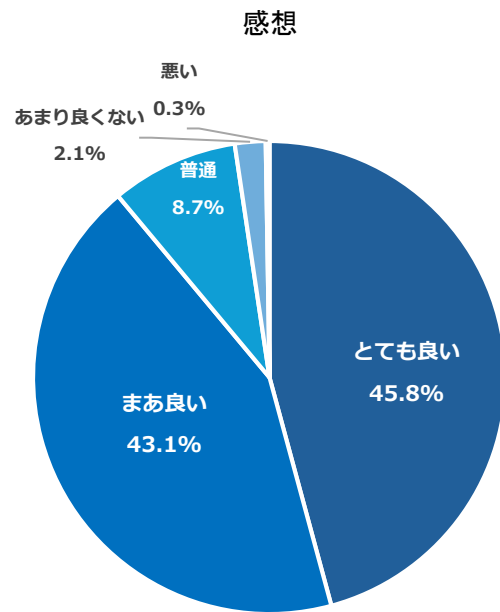
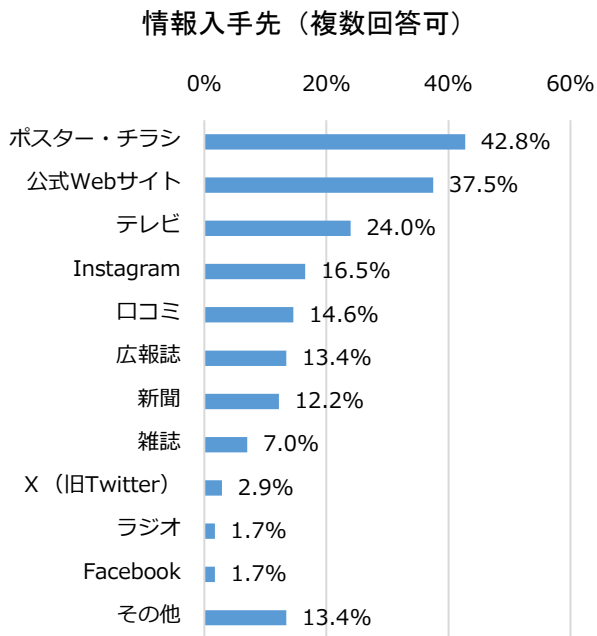


会場間の移動手段（複数回答可）



来場のきっかけ（複数回答可）





【自由記述（主な意見）】

- ・ 県北地域の自然とアートの融合が素晴らしかった。芸術を通して岡山區北の魅力を堪能することができた。
- ・ 普段訪れないような地域に行くきっかけとなった。この機会ですべて初めて訪れた観光地や飲食店もあり、アート鑑賞と併せてよい経験になった。芸術祭に関係なく、また立ち寄りたと思った。
- ・ 会場やインフォメーションセンターのスタッフの感じが良かった。ボランティアとのコミュニケーションが楽しかった。
- ・ 次回も是非開催してほしい。
- ・ 会場間の距離が遠く、1日ですべての会場を巡るのは難しかった。もう少しコンパクトなエリアだとよいと思った。
- ・ 事前の広報や案内が不十分だと思った。作品内容の情報があると旅行計画を立てやすい。
- ・ 会場の周辺の飲食店が予約客で埋まって入れない状態だった。

XV 芸術祭開催による効果

1 経済波及効果

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の開催により、岡山県内における経済波及効果を約 38 億円で来場者の平均消費支出額は、17,962 円であったと推計した。

	経済波及効果			
		直接効果	第 1 次波及効果	第 2 次波及効果
合 計	38.0 億円	24.3 億円	8.1 億円	5.6 億円
事業支出	9.9 億円	6.2 億円	1.9 億円	1.8 億円
来場者消費支出	28.1 億円	18.1 億円	6.2 億円	3.8 億円

直 接 効 果：新たに発生した消費（入場者の交通費、宿泊費、飲食費、購入費等）や投資によって、岡山県内の各産業部門に誘発された生産額

第 1 次 波 及 効 果：直接効果に伴う原材料等の購入（投入）によって誘発された岡山県内での生産額

第 2 次 波 及 効 果：直接効果と第 1 次波及効果を通じて発生した雇用者所得のうち、新たに消費として支出された民間消費支出の増加によって誘発された岡山県内での生産額

2 観光客の動向

岡山県調査（各年 10 月、11 月の観光客の合計数）

エリア	2024 年 (開催年)①	2023 年 (前年)②	2019 年 ③	対前年 ①/②	対 2019 年 ①/③
備前	1,234 千人	1,281 千人	1,213 千人	96.3%	101.7%
備中	980 千人	974 千人	947 千人	100.6%	103.5%
美作	786 千人	623 千人	587 千人	126.2%	133.9%
合計	3,000 千人	2,878 千人	2,747 千人	104.2%	109.2%

※県内の主な観光施設等 123 施設の利用者数（延べ数）をエリア別に集計

3 パブリシティ効果

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の開催に係るメディア報道におけるパブリシティ効果（広告費換算額）は、約 23 億円であったと推計した。

種別	広告費換算額（百万円）
新聞	335
テレビ	1,206
雑誌	44
ラジオ	23
Web サイト	666
SNS	14
合計	2,288

XVI 収支状況（3か年）

1 収入

（単位：千円）

区分	2022年度	2023年度	2024年度 (見込み)	計
岡山県負担金	20,000	20,000	90,000	130,000
市町村負担金	10,500	28,600	34,000	73,100
補助金・助成金	4,106	13,300	85,526	102,932
協賛金・寄附金	1,500	247,925	69,207	318,633
チケット販売等	—	—	24,035	24,035
諸収入	0	0	4,389	4,389
小計	36,106	309,825	307,157	653,089
前年度繰越金	—	4,710	258,777	—
合計	36,106	314,536	565,934	①653,089

2 支出

（単位：千円）

区分	2022年度	2023年度	2024年度 (見込み)	計
作品制作関係費	16,765	27,443	241,133	285,341
ディレクター費	14,300	18,120	25,173	57,593
作品制作関連費	2,465	9,323	215,960	227,748
広報・観光関係費	12,964	23,347	69,627	105,937
広報費	4,067	14,187	56,831	75,085
イベント関連費	8,897	9,159	12,795	30,852
総務・運営費	1,667	4,969	199,015	205,650
会場運営費	—	—	133,053	133,053
総務・運営費	1,667	4,969	65,961	72,597
合計	31,396	55,759	509,774	②596,928

収入① 653,089千円 － 支出② 596,928千円 ＝ 56,161千円

※それぞれの項目毎に四捨五入で記載しているため、合計値が合わない場合がある。

XVII 成果・課題

1 総括

- ・最大 25 万人としていた想定の上となる延べ約 52 万人（会期 58 日間）が来場し、県内外の人々に県北部の魅力を体感してもらうとともに、地元の人々にとっても地域の魅力を再認識し、シビックプライドの醸成に繋がる機会となった。
- ・作品制作やイベント実施、会場運営などにおいて、大学や企業など多くの地元関係者の協力を得ることができ、県北部における新たな協働の基盤を構築することができた。
- ・経済波及効果が約 38 億円、パブリシティ効果（広告費換算額）が約 23 億円であり、県内経済への好影響が確認できた。

2 個々の取り組みの検証

(1) 展覧会・イベント

【成果】

- ・国際的に活躍するアーティストや地元ゆかりのアーティストなど 42 組 43 人による現代アート、写真、音楽、ダンス、建築、華道、デザイン、染色、工芸、映像、料理といった多彩なジャンルの展示を行うことができた。
- ・5 市町 6 エリアの 21 会場において、歴史的建造物や街並み、鍾乳洞や溪谷など、県北部の特色ある地域資源を生かした展示などを行ったことなどにより、地域の潜在的な魅力を再認識してもらうとともに、地域に誇りを感じてもらうきっかけとなった。

【課題】

- ・アーティストや会場の選定に想定以上の調整を要し、市町村や関係施設等への情報提供が遅れるとともに、作品制作や会場運営の準備、広報に支障が生じた。

(2) 来場者への対応

【成果】

- ・市町村、施設管理者、地域住民等の協力により、地域一体となって来場者を迎えることができた。
- ・来場者アンケートでは、施設管理者や芸術祭スタッフ等の親切な対応への評価も寄せられ、関係者一丸となったおもてなしが好意的に受け入れられた。
- ・想定を大きく上回る来場者があったが、一部施設での混雑予想の情報提供のほか、状況に応じたスタッフの配置など、受入体制の強化を図ったことにより、大きな混乱なく運営することができた。

【課題】

- ・サインの掲出方法や設置場所、インフォメーションセンターの設置場所や提供情報の充実などについて、来場者の利便性をより高める工夫を行う必要があった。

(3) サポートスタッフ

【成果】

- ・目標 500 人に対して、621 人の応募があった。
- ・開催エリアのみならず、県南からも多数の参加があり、県内全域での盛り上げの一助となった。
- ・県内の大学との連携等により、若い世代の積極的な参加を促すことができ、世界的なアーティストとの交流の機会を設けることもできた。

【課題】

- ・サポートスタッフ、来場者双方の満足度を高めるため、作品に関する情報や参加会場ごとの活動内容の違いなど、事前の情報共有をより充実させる必要があった。

(4) 広報

【成果】

- ・新聞、テレビ、雑誌など多くのメディアが、様々な角度から芸術祭の情報を取り上げたことにより、パブリシティ効果が 23 億円に上った。
- ・8 月中旬から 9 月にかけての集中的な情報発信により、Instagram など SNS のフォロワー数が顕著に増加し、会期中の来場者の増加に繋がった。
- ・公式 Web サイトの閲覧回数が 237 万回に上った。特に開幕日 (9/28) は 51,000 件を超える閲覧があり、開幕直後からの好発進に繋がった。

【課題】

- ・機運醸成と芸術祭の認知度向上を図るため、キービジュアル等の露出や SNS などを活用した情報発信、市町村や地元関係者への情報提供をより早い時期から行う必要があった。
- ・ポスターやリーフレット等の広報資材の制作が遅れたことにより、事前の PR や周知を行うことができなかった。
- ・作品が会期直前に完成したため、広報面で作品の魅力を十分に活用することができなかった。
- ・首都圏、海外からの誘客のための情報発信が十分でなかった。

(5) 交通

【成果】

- ・市町村や交通事業者等と連携し、広域な開催エリアを移動するための交通手段を確保することができた。
- ・オフィシャルツアーバスや Art 周遊バスの利用者が想定以上に多く、公共交通機関で会場を周遊したいとの需要が大きいことが確認できた。

【課題】

- ・オフィシャルツアーでは、エリアが広く、移動に多くの時間を要することについての意見が散見されたため、観光地と組み合わせた行程などの工夫も必要であった。

(6) 観光

【成果】

- ・岡山県調査によると、10 月、11 月の観光客数は美作エリアで前年比 126.2%、2019 年比 133.9% となっており、前年同時期及びコロナ禍前 (2019 年度) 同時期とともに上回った。また、県全体でも前年比 104.2%、2019 年比 109.2% となった。

- ・実行委員会と県観光連盟で計 16 のモデルコースを設定し、公式 Web サイト等で周知したところ、5 万回を超える閲覧数があり、広い開催エリアを効率的に周遊するための情報を提供できた。
- ・食を取り入れたアート作品が複数生まれ、地元の食材や食文化を発信することができた。

【課題】

- ・旅行商品の造成の時期に、作品プラン等が決定していなかったため、芸術祭の見どころを十分に伝えることができず、旅行商品の造成に支障があった。
- ・作品設置のなかった市町村への周遊を促すためのさらなる取り組みが必要であった。

(7) 連携事業

【成果】

- ・PICK UP PROGRAM、FRIENDS PROGRAM に計 158 事業の応募があり、県内の幅広い団体に芸術祭への参加意識を醸成することができた。
- ・PICK UP PROGRAM の実績報告では、芸術祭との連携について約 80%の主催者が「かなり効果があった」、「やや効果があった」と回答があった。

【課題】

- ・公式 Web サイトに事業一覧を掲載していたが、来場者に浸透させるには不十分であった。要件や周知方法の工夫が必要であった。

(8) 地域連携・学校連携

【成果】

- ・地元住民や地元大学などとの連携による地域の特色を生かしたイベントを開催し、地域の魅力を再認識する機会を創出することができた。
- ・38 の小中高校の延べ 2,375 人が教育プログラムに参加し、専門人材のガイドに沿って質の高いアート作品を鑑賞した。次世代を担う子どもたちが、豊かな感性や創造性を育む貴重な場となった。
- ・鑑賞プログラムにおいて地元の方が専門人材として参加し、芸術祭を通じ新たなネットワーク構築ができた。

【課題】

- ・一般来場者へ作品を紹介する一般鑑賞プログラムの取り組みが十分ではなかった。

(9) 企業協力・協賛

【成果】

- ・芸術祭の開催趣旨に賛同する 32 の企業等から協賛いただくことができた。

【課題】

- ・芸術祭を通じたパートナーシップの構築に繋がるより一層の取り組みが必要であった。

【連携事業等一覧】

PICK UP PROGRAM 事業一覧

市町村名	事業名	主催者	開催場所	開催日
津山市	津山城ナイトイルミネーション「TSUYAMAGIC」	津山観光キャンペーン推進会議	津山城(鶴山公園)	10月25日～11月10日
	津山城もみじまつり	津山城もみじまつり実行委員会	津山城(鶴山公園)	11月16日～24日
	津山まつり	「津山まつり実行委員会」及び各町内会	大隅神社及びその周辺 高野神社及びその周辺 徳守神社及びその周辺	10月第3日曜日 10月22日に近い日曜日 10月第4日曜日
	津山まちじゅう体験博	津山まちじゅう博物館コンソーシアム	市内全域	10月19日～12月1日
	珈琲フェア	津山まちじゅう博物館コンソーシアム	城東地区一帯	9月29日
	城西まるごと博物館	津山・城西まるごと博物館フェア実行委員会	津山市城西地区 西今町、宮脇町、旧出雲街道沿線	10月6日
	城東アートクラフト展	つやま城東まちかつ	津山市城東地区 旧出雲街道沿線	11月2日～3日
	第5回津山街ぶら	津山街ぶら実行委員会	市内中心部エリア(商店街・田町エリア等)	11月17日
	TSUYAMA FOOD COLLECTION VOL.6	つやコレ実行委員会	城下スクエア(津山国際ホテル跡地)	10月13日
	秋のみまさかスローライフ列車	みまさかローカル鉄道観光実行委員会	因美線沿線各駅(津山駅～那岐駅)	11月10日
高梁市	赤で彩るアート展	一般社団法人高梁市観光協会	高梁市成羽町吹屋	9月28日～11月24日
	児島虎次郎没後95年・開館30年記念 日本洋画130年 珠玉の名品と児島虎次郎	高梁市成羽美術館	高梁市成羽美術館	10月12日～12月15日
	高梁市発足20周年記念 高木聖鶴展—かな書の世界—	高梁市歴史美術館	高梁市歴史美術館	10月13日～12月2日
新見市	森の芸術祭アート作品と新見市内の文化・芸術を巡るツアー事業	新見市	新見市内	10月5日、10月12日、11月2日、11月23日
	新見美術館展覧会「菅原道真公1125年 太宰府天満宮式年大祭記念 神戸智行「千年を描く」」	新見美術館	新見美術館	9月15日～11月24日
	第39回秋の縄文野焼き祭り	新見市教育委員会・猪風来美術館・法曾焼同好会	猪風来美術館	10月13日
真庭市	海山マルシェ2024～海の市・山の市真庭～	海の市・山の市真庭実行委員会	蒜山高原一円	9月29日
	FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO 2024 supported by GREENable	FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO実行委員会	真庭市蒜山地域、新庄村	10月6日
	MHヒルクライム／真庭速祭	MHヒルクライム／真庭速祭実行委員会	木山街道周辺	11月17日
	森の芸術祭応援事業(駅プロジェクト&まちめぐり)	真庭市	真庭市一円	森の芸術祭開催期間中
	蒜山キャンドルナイト／蒜山スターウォッチング	一般社団法人真庭観光局／グリーンピア蒜山ほか	蒜山ハーブガーデン・ハービル	キャンドルナイト 8月24日、9月14日、 10月12日、11月16日 スターウォッチング 10月26日、11月2日
	久世藝術祭2024「久世げー」	合同会社わっしょいボヘミアン	久世河川敷、上町商店街周辺	10月5日～6日
	第21回 落合まちかど展覧会	落合まちかど展覧会実行委員会(落合文化協会)	真庭市落合地区各所	9月22日～29日 (会場によって開催期間が異なる)

市町村名	事業名	主催者	開催場所	開催日
	真庭アートツアー 「森の芸術祭“真庭”～めぐる つながる まにわ～アートツ アー」	一般社団法人真庭観光局	真庭市内ほか（4コー ス）	9月23日～11月23日 のうち8日※要予約
美作市	作東バレンタインホテル ～泊まれる美術館～	作東バレンタインホテル	作東バレンタインホテル	9月14日～11月30日
	ゆのごうマルシェ	ゆのごうマルシェ運営委員会	湯郷温泉観光案内所前駐 車場	10月20日、11月17日
	アート田んぼ	永ちゃん田んぼの会	美作市下町	水稻アート 7月～9月、10月20日 もみ殻アート 11月～2月、11月3日
新庄村	新庄村ゆかりの芸術家と その愉快的仲間たち展	新庄村	新庄村がいせん桜通り	10月12日～27日
	新庄村映画祭	一般社団法人むらづくり新庄村	新庄村役場	10月11日～12日
鏡野町	奥津溪もみじ祭り	奥津もみじ祭り実行委員会	奥津振興センター、 奥津溪	10月26日～11月10日
	OKUTSU芸術祭	OKUTSU芸術祭実行委員会	かがみの近代美術館 ほか19か所	9月14日～12月1日
	山田養蜂場ギャラリー特別展 自然賛歌 美しきバルビゾン派の 世界	山田養蜂場	山田養蜂場本社	10月5日～14日 11月1日～10日 ※11月8日は閉館
	妖精の森ガラス美術館企画展	妖精の森ガラス美術館	妖精の森ガラス美術館	9月25日～11月11日
勝央町	第43回勝央町金時祭	勝央町金時祭実行委員会	勝央文化ホール・ 図書館周辺	10月13日
	勝央町スイーツまつり& マルシェ	勝央町スイーツのまちづくり 実行委員会	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィ レッジ	11月24日
	森神KINTARO 田島征三 森と命とARTの世界	勝央町（勝央美術文学館）	勝央美術文学館	8月10日～10月14日
奈義町	奈義国際フェスティバル	奈義町	那岐山麓山の駅	10月6日
	横仙歌舞伎大公演	奈義町・奈義町教育委員会	奈義町文化センター	11月23日～24日
西栗倉村	セカイの見え方を共有する 表現展「森々燦々」	むらの自然と芸術・文化をつな ぐ実行委員会	西栗倉村大茅、 あわくら会館	10月12日～11月10日
	むらみつけ文化祭	西栗倉村文化協会	あわくら会館・図書館ほ か	11月2日～3日
久米南町	誕生寺イチョウの紅葉イベント	誕生寺	誕生寺境内	11月17日
	秋んど祭りくめなん	久米郡商工会	道の駅くめなん	10月27日
美咲町	みさき秋まつり	みさき秋まつり実行委員会	美咲町立柵原学園	11月10日
	たまごまつり第13幕	たまごまつり実行委員会	J R 亀甲駅前商店街区	10月20日
	どんとこい収穫祭	倭文西まちづくり協議会	まきばの館	11月10日

FRIENDS PROGRAM 事業一覧

NO	事業名	事業者名（主催者）
1	ダンボールクラフト アンソロジー	ダンボールクラフト実行委員会
2	エモクロアTRPGシナリオ「Hour cry」制作プロジェクト	西栗倉百年の森林協同組合 TRPG事務局
3	森林音楽セラピー	ks森林音楽セラピー研究所
4	美作桧、美作杉の家具でくつろぐ時間と空間の提供	TSUYAMA FURNITURE 協議会事務局
5	e-economy(イー・エコノミー)	イー・エコノミー
6	映画「やまぶき」北房上映会	公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
7	まにわ映像コンクール	公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
8	久世中学校生徒プロデュース「季節の創作和菓子」	真庭市立久世中学校
9	Oto	高木 一真
10	ほわっふる。	橋本 未帆
11	子どもと楽しむ音楽会～はじめてのオーケストラ体験～	公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
12	舞踊集団宮坂流エスパス公演	公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
13	湯原温泉露天風呂の日 第3回アート企画展	アートスペース天ノ屋
14	津山ビッグマルシェ	手作りマルシェin津山事務局
15	令和6年度地区対抗ふれあいソフトバレーボール大会	真庭スポーツ推進委員会美甘支部
16	有森博ピアノリサイタル ロシアピアノリズムの系譜Vol.19	公益財団法人真庭エスパス文化振興財団・真庭市
17	たにぞう手あそび歌あそび音楽会	公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
18	美咲森芸2024 ～美咲の森を子どもたちにつなげよう～	美咲森芸実行委員会
19	第3回北房花火大会	真庭商工会北房地区運営会議
20	Animals Paradise (アニマルズ・パラダイス)	NishiIma25
21	おちあい元気フェスタ	おちあい元気フェスタ実行委員会
22	令和6年度 第18回「十字屋・環境と夢絵画コンクール」	十字屋グループ
23	美甘夏まつり	美甘地域づくり委員会
24	第62回湯原温泉はんざき祭り	はんざき祭り実行委員会（一般社団法人湯原観光協会）
25	久世夏祭り 2024リバーサイドフェスティバル	久世夏祭り実行委員会
26	第78回落合納涼花火大会	落合納涼花火大会実行委員会（真庭商工会落合地区運営会議）
27	保田扶佐子アンソロジー展	津山アートミュージアムユニット
28	原豊二講演会 源氏物語の人間と文化-写本と絵画の紹介を兼ねて-	真庭市立久世図書館
29	ひるぜん塩釜マルシェ ～6周年祭～	ひるぜん塩釜キャンピングヴィレッジ
30	地球はひとつみんなが仲間 ～色んなアート体験～	梅田直人
31	湯原っしい2024	湯原っしい実行委員会
32	美甘ふるさとまつり	美甘地域づくり委員会
33	美甘文化祭	美甘文化協会
34	津山まなびの鉄道館「2024親子で満喫！わくわく夏休み！」	公社）津山市観光協会
35	第53回文化祭～北房文化交流会～	北房文化協会
36	真庭市蒜山ミュージアム 栗田咲子展関連企画ワークショップ「ワンダー肖像画」	真庭市生活環境部スポーツ・文化振興課
37	ツリークライミング・スラッグライン体験会開催事業	ふるさとの山、山道を整備する会
38	植物標本づくりと九津見肇さんの100年前の植物標本展	真庭市立中央図書館・津黒いきものふれあいの里
39	北房コスモスまつり	北房コスモスまつり実行委員会
40	第25回蒜山さかなつかみどり大会	蒜山さかなつかみどり大会実行委員会

NO	事業名	事業者名（主催者）
41	ダイバーシティ&アートin津山 Vol.4「さくらアートクラブの仲間たち」 Vol.5「KOU」の世界	社会福祉法人 共栄会 社会就労センター さくらワークヒルズ
42	第37回 哲多町文化展	哲多町文化協会
43	蒜山 秋色 尺八・箏コンサート	蒜山邦楽振興企画 代表 井藤 侃山
44	邦楽の祭典 in 普門寺（真庭）	都山流岡山県支部
45	令和6年度ひるぜん花火大会	ひるぜん花火大会実行委員会
46	モルタル造形アートの世界に触れてみよう！ （ミニチュアハウス製作のワークショップあり）	蒜山ハーブガーデンハービル
47	ひるぜん夏恋まつり	真庭観光局
48	ラブ・フログズ庄司 with ドラム福島 姫新線駅待合室Live!	ラブ・フログズ
49	～僕らはまだ旅の途中～なかがわけんじ(元H20) ひとり旅編 『この街で逢おう』	Café & Live Musik
50	エスパスディスコ	公益財団法人真庭エスパス文化振興財団・真庭市
51	蒜山 星の音楽会	蒜山観光協会
52	旧遷喬尋常小学校なつかしの学校給食	公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
53	「よんないやin古町2024」	よんないやin古町実行委員会
54	次世代おかやまアーティスト活動促進事業「素材と対話する 張慶南+潮嘉子」	新見美術館振興財団、岡山県
55	令和6年度シリゲ作品展	大宮踊保存会
56	稲葉なおと写真展～スパイラル 美しい建築で踊る～	公益財団法人津山文化振興財団
57	勝山文化往来館「ひしお」×「勝山高校」コラボ企画 絶対外せない！「勝山スイーツ」開発	真庭市（担当課：勝山振興局地域振興課文化振興係）
58	勝山文化祭	勝山文化協会（担当課：勝山振興局地域振興課文化振興係）
59	岡山県北の食と地酒を特別な場所で～峰彩食堂～	岡山県の地酒魅力拡大プロジェクト実行委員会
60	ECO×ART×NIIMI ～エコとアートとわたしたち～	新見市市民環境会議
61	阿吽山房 秋の芸術祭（コンサート・映画祭・陶芸・絵画）	株式会社 阿吽山房
62	うすくらがりで言葉をかわす	三日月回
63	森の芸術祭連携事業 FRIENDS PROGRAM（ドイツのスケッチ展、Kim-Hyoyun展、林雅子展）	PaletteScene
64	Musik Special / No genre Live PEACE & PEACE	Café & Live Musik
65	Musik Special / Classic Live Flora	Café & Live Musik
66	久世文化祭	久世文化協会
67	磯谷晴弘展 霞の向こう側	特定非営利活動法人 勝山・町並み委員会
68	里山里海交流館しんびお 毘沙門滝チェーンソーアート観覧と森の神秘スポット巡り 立体映像「森から海への贈り物」上映	一般社団法人 北房観光協会
69	原田よもぎ展 字のない物語	特定非営利活動法人 勝山・町並み委員会
70	津山市中央公民館主催講座「すずめ・かんたんて」コンサート 《詩(うた)う絵本『き』を歌う》	すずめ・かんたんて(童謡唱歌を歌い楽しむ講座) (津山市中央公民館主催講座)
71	湯郷ゆけむりバル	湯郷ゆけむりバル実行委員会
72	第23回 津山鼓笛ミュージックフェスティバル	津山幼児音楽育成会
73	杜のアート展2024	杜のアート展実行委員会
74	美作祭 mimasaka art fes	有限会社美作農園
75	(仮)COOKIES DONUTS AND COFFEES61 ～森の芸術祭レセプションアフターパーティー～	株式会社KAMP.

NO	事業名	事業者名（主催者）
76	第74回全国植樹祭記念事業（アフターイベント）	第74回全国植樹祭岡山県実行委員会
77	第74回全国植樹祭記念事業（アフター地域植樹）	第74回全国植樹祭岡山県実行委員会
78	令和6年度湯原文化祭	湯原文化協会
79	森の展示室 Ute	森の展示室 in 美作 実行委員会
80	おかやまファーマーズマーケットノースヴィレッジ 秋の金太郎館	ノースヴィレッジ金太郎館実行委員会
81	ふるさと勝山もみじまつり	ふるさと勝山もみじまつり実行委員会
82	蒜山郷土博物館体験講座「穴炭体験教室」	真庭市蒜山郷土博物館（真庭市教育委員会生涯学習課）
83	真庭音楽祭 Let's Enjoy Music!～みんなでつくる音楽祭～	真庭音楽祭実行委員会
84	第6 回県北のうまいもん大集合！うまいもん商店街！	岡山県美作県民局
85	小林正秀・中桐聡美展「風景のかたち」	公益財団法人美作学術文化振興財団
86	組み木を作ってみよう～電動糸のこで作る組み木体験～	現代玩具博物館・オルゴール夢館
87	目木川東会 歴史講座「古代の目木川東の様子について（仮）」	目木川東会
88	いやしの里、中津井「カラクリ祭り」	中津井やまびこ会
89	蒜山を訪ねる現地研修会	公益財団法人岡山県郷土文化財団
90	HIRUZEN Aloha Jamboree	Hale Aloha Foundation
91	羅生門ガイドツアー	新見市教育委員会 生涯学習課
92	旅僧まにわ 御朱印めぐり	旅僧まにわ/一般社団法人真庭観光局
93	津山洋学資/料館 令和6年度 秋季企画展「中津藩と蘭学の夜明け」	津山市（津山洋学資料館）
94	津山郷土博物館特別展「考古資料は語る！ -美作津山の古墳文化-」	津山郷土博物館
95	第33回 津山市写真展	津山市
96	土蔵で聴くチェロの音vol.2	特定非営利活動法人 勝山・町並み委員会
97	津山市子どもまつり	津山市子どもまつり実行委員会
98	bistro CACASHI	平山 智幹
99	第9回 湯原うつき祭り	社会福祉法人 旭川荘 旭川荘真庭地域センター 第9回 湯原うつき祭り実行委員会
100	「森林（もり）」展	一般社団法人Nest
101	わくどきマルシェ&街歩き五感でアート体験	TEAM青音 片岡晴香
102	真庭市立図書館 森（「森」の「木」は「本」）の芸術祭2024	真庭市立図書館
103	「カツオ/シバキ」	シン・美育振興会 ♪(仮)
104	「はむ」	にしあわくら小林菓子店/SANSAI 株式会社
105	谷尻遺跡発掘50周年記念行事	西の明日香村コンソーシアム
106	eスポーツとクリエイティブアートのコラボレーション事業	MANIWA eスポーツクラブ実行委員会
107	秋の名画鑑賞会	真庭市立久世図書館
108	初めての草木染体験	真庭市立久世図書館
109	萩原勇一講演会 ～音楽いいね『楽しみ』の話	真庭市立久世図書館
110	融合-YOU GO- 揺らぎの煌めき 未来の種が芽吹く街	アートで地域づくり実践講座実行委員会
111	岡山県地域課題解決型教育旅行誘致プロジェクト	岡山県地域課題解決型教育旅行誘致プロジェクト実行委員会
112	森のざわめき・溪谷の風・川のせせらぎ 体験型モビリティ（2輪・3輪）で岡山県北の自然を満喫しよう！	株式会社パドック
113	おちあい文化祭	落合文化協会

※認証順に記載

鑑賞パスポート特典参加施設一覧

NO	施設名	特典内容
1	招き猫美術館	入館料 高校生以上100円引、小中学生50円引
2	POLEPOLE	ラージマウスケイブ コースのみ（トレンチケイブコースは通常価格で予約可能です。） 12,000円→8,000円OFF ※写真と動画もプレゼント
3	ヒルゼン高原センター・ジョイフルパーク	ショップ、レストラン5%OFF
4	多胡本家酒造場	1,000円以上お買い上げの方に酒蔵オリジナルグッズまたは食品プレゼント
5	花の宿にしき園	チェックイン時に鑑賞パスポート提示でワンドリンクサービス
6	渋川動物公園	鳥の羽セットプレゼント
7	和洋菓子司 青柳本舗	お買い上げ合計より10%割引
8	作東バレンタインホテル	ランチ・ディナーご利用時に、ワンドリンクサービス
9	スーパーヒルゼン	お買い物商品の中で一番金額の大きなものを10%割引
10	星空リゾートHIRUZEN	宿泊者にウエルカムドリンクサービス（自家製ミントのミントコーラか自家製ハーブティー）
11	有限会社 佐々木文正堂	全商品15%引き（但し駄菓子は対象外）
12	おかやまジビエみなみ	1,000円以上のお買い上げで50円割引
13	蒜山ハーブガーデンハービル	入園料50円割引
14	大原美術館	絵葉書2枚プレゼント ※絵柄は選べません
15	ひるぜんジャーゼーランド	レストランにてお食事の方は1割引
16	アリオ倉敷	アリオ倉敷の飲食店で当日使えるグルメクーポン200円分をプレゼント！！ ※引換場所：1Fインフォメーションカウンター
17	azoviijewelry	2,000円以上のご利用でミニ鉱物標本か天然石ビーズプレゼント！
18	倉敷帆布 LOGIN Kurashiki店	商品をお買い上げの方にコースター2枚プレゼント
19	WASHU BLUE RESORT風籠	1泊2食でご予約の方にクラフトビール独歩生ビール1杯無料でプレゼント
20	倉敷帆布 美観地区店	2,000円以上お買い上げの方にコースター2枚プレゼント
21	倉敷帆布 本店	2,000円以上お買い上げの方コースター2枚プレゼント
22	株式会社トヨタレンタリース岡山 岡山空港店	燃料代1,000円割引
23	株式会社トヨタレンタリース岡山 新見駅前店	燃料代1,000円割引
24	株式会社トヨタレンタリース岡山 岡山駅西口広場前店	燃料代1,000円割引
25	株式会社トヨタレンタリース岡山 岡山駅西口店	燃料代1,000円割引
26	株式会社トヨタレンタリース岡山 西大寺駅前店	燃料代1,000円割引
27	株式会社トヨタレンタリース岡山 備中高梁駅前店	燃料代1,000円割引
28	株式会社トヨタレンタリース岡山 津山駅前店	燃料代1,000円割引
29	株式会社トヨタレンタリース岡山 倉敷駅北口店	燃料代1,000円割引
30	株式会社トヨタレンタリース岡山 新幹線新倉敷駅前店	燃料代1,000円割引
31	株式会社トヨタレンタリース岡山 新保店	燃料代1,000円割引
32	&cafe 寿司一	店内でご飲食代の税抜き価格より10%割引
33	井原市立平櫛田中美術館	入館料の割引（団体割引を適用） ※所蔵名品展の間は500円→400円、特別展の間は1000円→800円
34	おかやまファーマーズ・マーケット ノースヴィレッジ	ソフトクリーム50円割引
35	犬島精錬所美術館、犬島「家プロジェクト」	犬島精錬所美術館、犬島「家プロジェクト」ご鑑賞の方に、ポストカードをプレゼント
36	岡山後楽園	後楽園入園料2割引
37	道の駅 風の家	ジェラート50円割引
38	全国川上水と緑のふるさとプラザ	1,000円以上お買い上げの方に特産品プレゼント
39	倉敷和平治商店	鑑賞パスポート提示で、ちよびりプレゼント（オリジナル耳かき）
40	現代玩具博物館・オルゴール夢館	入館料1割引
41	ゲストハウスさくら家	宿泊者の方に湯本温泉館入浴券プレゼント
42	オートキャンプ場 川のほとり	宿泊者の方に湯本温泉館入浴券プレゼント
43	裏路地9番地 picnic or market ?	1,000円以上お買い上げのお客様にカヌレ1個プレゼント
44	特定非営利活動法人 てっちりこ（道の駅奥津温泉）	2,000円以上お買い上げの方にマイ七味づくり体験50円割引
45	妖精の森ガラス美術館	入館料100円引（提示者を含む5名まで）
46	道の駅 久米の里	手作りアイス50円引き
47	津山郷土博物館	入館料2割引
48	津山洋学資料館	入館料2割引
49	那岐山麓山の駅	食後のコーヒーサービス
50	名泉鍵湯 奥津荘	日帰り入浴100円引き
51	ととお窯	2000円以上お買い上げの方にミニ陶器プレゼント
52	インド料理シボン	お食事をされた方にミニソフトドリンクプレゼント
53	民宿大黒や	チェックイン時に鑑賞パスポート提示でワンドリンクプレゼント

スペシャルパートナー



院庄林業



SGC



山陽新聞社



ちゅうぎん
フィナンシャルグループ



JAPAN AIRLINES



日本生命



日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY



パートナー



株式会社三備電業社 株式会社宗家源吉兆庵 第一生命保険株式会社
東武トップツアーズ株式会社 株式会社トロンマネージメント

岡山ダイハツ販売株式会社 リコージャパン株式会社岡山支社

ランダス株式会社

助成等



個人寄附

牧寛之

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実績報告書

2025年3月発行

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会事務局

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6（岡山県産業労働部観光課内）

TEL 086-226-7843 FAX 086-226-7844